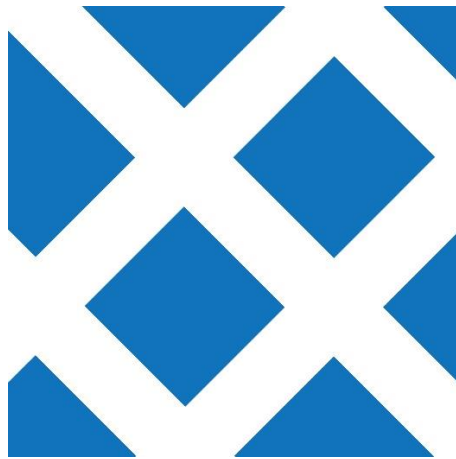


# 萩市子ども議会

## 回答書



萩市

令和5年11月18日

# 目次

◆子ども議員のアイデアに対する回答	.....	2	～	33
◆子ども議員以外のアイデアに対する回答	.....	34	～	75

※子ども議員以外に対する回答は、“理想の萩市”にするためのアイデアを応募された方のみ萩市から回答いただいています。また、回答はアイデアを分類して回答されています。

## 応募数などの内訳

<b>◆応募総数</b>	<b>163人</b>
・萩東中学校	133人
・萩西中学校	3人
・三見中学校	3人
・大井中学校	6人
・見島中学校	2人
・萩光塩学院中学校	16人

<b>◆理想の萩市</b>	<b>162個</b>
・子ども議員	16個
・子ども議員以外	146個

<b>◆アイデア総数</b>	<b>307個</b>
・子ども議員	22個
・子ども議員以外	285個

※応募者の中には、アイデアのみを応募された方もいるため、応募総数と“理想の萩市”の数は一致しません。

# 子ども議員に対する回答

質 問 順	1	議員名	伊藤 空 議員
理想の萩市	地域の人たちの仲が良く、元気なあいさつが絶えない萩市		
提 案 項 目	1. 地域の人たちの交流の場について 2. あいさつ運動の実施について		

伊藤 空議員から、「地域の人たちの仲がよく、元気なあいさつが絶えない萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

まず「地域の人たちの交流会について」であります。

私も「明るく元気な萩市」の実現を目指しております。住民の皆さんの活発な交流は、まさに、萩市の元気そのものであると考えており、伊藤 空議員のご提案に賛成でございます。

伊藤 空議員からご提案のありました、地域の人たちの交流会は、住民の皆さんの身近にあり、多くの方が加入されている町内会や自治会での開催が良いのではないかと考えます。

この町内会等は、住民の皆さんによって自主的に運営されている一番身近な自治組織で、自分たちの地区をより良くするため、住民相互の親睦や清掃、防犯、防災といった様々な活動をされておられます。

従いまして、その活動は、それぞれの町内会等で決定されますことから、萩市としましては、町内会を対象とした研修会の間などを通じて、伊藤 空議員の思いを添え、特に若い世代の交流会の開催について、ご提案させていただこうと思っております。

なお、萩市では、町内会等の活動を積極的に行っていただくため、地域の皆さんが集まる集会所の建設や、地域活動に必要な備品等の整備、活動費など、様々な支援を行っております。

各地区で、お祭りや清掃活動などの行事に多くの方が参加され、挨拶や会話が賑やかに聞こえてくる「明るく元気な萩市」を目指し、今後も住民相互の交流が進むよう取り組んでまいります。

次に「あいさつ運動について」であります。

先日、39社のIT企業の方々が、萩・明倫学舎に視察に来られた際、すれ違う明倫小学校の子どもたちが、元気よく「こんにちは」と、次々と挨拶されました。

企業の皆さんは「こんなに挨拶する子どもたちは、全国でもいない。萩の子どもたちは、すばらしい。」と絶賛され、私も誇らしく感じたところでございます。

私も「明るく元気な萩市」の第一歩として、元気の良い挨拶を心がけておるところでございますが、伊藤 空議員から大人の挨拶が減っているところのご指摘を受け、恥ずかしく思っております。

挨拶に関する萩市の取組につきましては、全国的にも展開されております「おはようございます」、「ありがとうございます」、「しつれいします」、「すみません」の頭文字をとった「オアシス運動」を推進しております。

この運動は、各地域、各学校を中心に、それぞれ取り組まれておりますが、地域や学校、職場等のあらゆる場面において、大人や子ども関係なく、全ての世代が挨拶を交わすことで、挨拶の浸透が図られ、明るく元気なまちづくりにつながります。

こうした取組に加えまして、ご提案いただきました萩市全体での統一的な挨拶運動にも、取り組んでみたいと考えております。

伊藤 空議員からは、毎月の開催についてご提案をいただきましたが、毎年、春・夏・秋・冬に、それぞれ期間を定めて行う交通安全運動と併せての実施が、効果的ではないかと考えております。

交通安全運動の期間中は、多くの方が、市内各所で立哨され、挨拶をする機会が多いこと、また、交通安全運動に参加される方も、通行される方も、それぞれが積極的に挨拶を交わすことで、お互いが明るい気持ちになり、挨拶の輪が広がりやすのではないかと考えたところです。

また、児童・生徒の皆さんの登下校時に立哨活動をされておられる「見守り隊」の皆さんは、いつも元気よく挨拶されておられます。

こうした気持ちの良い挨拶を交わすことで、挨拶の輪が広がっていくものと考えますので、日常の様々な場面においても、積極的な挨拶を促してまいります。

私も、これまで以上に率先して元気良く挨拶するとともに、市役所の窓口におきましても、笑顔でさわやかな挨拶を実践してまいりますので、皆さんも、ぜひ、元気良く、挨拶いただき、一緒になって挨拶の輪を広げてまいりましょう。

質 問 順	2	議員名	上田 愛実 議員
理想の萩市	多くの観光客に来てもらうことで経済を活性化させる萩市		
提 案 項 目	1. 萩短期大学跡地を利用して宿泊施設をつくる 2. 羽島全体をリゾート地にする		

上田愛実議員から、「たくさんの観光客に来てもらい、経済を活性化させる萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

上田愛実議員ご紹介のとおり、萩市の人口は減少傾向にあります。

令和5年10月末時点の萩市の人口は、4万2千870人で、上田愛実議員が生まれた平成21年の同時点と比べますと、約1万3千人減少しております。

こうした状況にあることから、萩市では、人口減少を最も重要な課題と捉え、減少に歯止めをかけるため、様々な施策を展開しているところであります。

移住情報を発信するサイトの一つでは、2021年の最も人気の移住地域として、萩市が全国第1位を獲得し、萩市への興味が非常に高くなっておるところであります。

また、去年は、萩・明倫学舎4号館に移住希望者の総合相談窓口として、「はぎポルト - 暮らしの案内所 -」をオープンいたしました。

「ポルト」とは、イタリア語で「港」という意味でございます。萩へ移住したい人や、萩に関わりたい人と、地域を結ぶ交流の場となり、皆さんが戻ってきたい場所となるよう、願いを込めて名付けたものです。

さらに、市外の方に地域活動に従事いただきながら、萩市への移住・定住を促す「地域おこし協力隊」にも取り組んでおり、古民家を改修し、宿泊施設やカフェなどを作られ、頑張っておられる方もいらっしゃいます。

こういった成果もあり、令和4年度は、51世帯79人の方が萩市へ移住されております。

上田愛実議員から、魅力ある観光施設を整備することにより、雇用の場が多くなり、定住者が増えるのではないかとのご意見をいただきました。

観光は、裾野の広い産業と言われます。例えば、宿泊施設、お土産屋さん、観光施設など、観光客が直接利用される業種はもちろん影響を受けますが、食事を提供するためには農業や漁業関係の皆さんの協力が必要となります。

また、施設が老朽化すれば建築業者の協力が、宿泊客のベッドのシーツを取り替えるためにはクリーニング業者の協力も必要となります。

こういった、一見、観光とは関係のなさそうな業種へも影響を与えるのが観光産業であります。

観光産業が盛んになれば、直接的な観光事業だけでなく、付随する色々な事業が拡大し、地元の高校生、大学生はもちろんのこと、移住者の雇用の場にもなるものと考えております。

今回、狐島にある萩女子短期大学の跡地に宿泊施設を作ってはどうか、羽島をリゾート地にしてはどうかと、2つの具体的な、ご提案を頂きました。

四方を海で囲まれた部屋の中で、萩の美味しい食材を堪能できれば、萩で宿泊したいと思う方も増えることが期待されます。

また、キャンプ場を運営していた時期もある羽島を、グランピングやマリンスポーツを楽しめるリゾート地とする、新たな自然観光も大変興味深いご提案であり、観光客の増加につながることも期待されます。

こういった宿泊施設や新たな観光地をつくるためには、民間事業者の斬新な発想や活力が必要であり、何より、整備するための資金が必要になってきます。

行政の立場でこういった取組ができるか、民間事業者と協力して、どういったことができるか、様々な視点から観光振興につながる手法を研究してまいります。

上田愛実議員のご意見も参考にしながら、萩市の活性化に努めてまいります。

質 問 順	3	議員名	上田 美侑 議員
理想の萩市	市内の学校すべてが同じ人数で学べる萩市		
提 案 項 目	1. 人数が少ない学校は他の学校との合併 2. 他校との交流のときに全面的にサポートしてくれる担当課をつくる		

上田美侑議員から、「市内の学校全てが同じ人数で学べる萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

まず、「人数が少ない学校と他の学校との合併」についてでございます。

上田美侑議員からお話がありましたように、人数が多いと、たくさんの意見を聴くことができ、よりよい解決方法を導き出すことも可能になります。

また、多様な考えにふれることにより、自分自身のものの見方や考え方を広げることにもつながります。友達の輪を広げ、多くの人と関わることは、人間として成長する上で、とても大切なことです。

これまでも、小さな学校どうしを統合して、少し規模の大きな学校にするという事例もありましたが、萩市内には、今も、たくさんの小さな学校があります。そこには、「地域の学校を大切にしたい」という、地域や保護者の方々の願いがあるからであります。

学校は、子どもが成長するための場所であると同時に、地域の文化や歴史、産業を次の世代につなぐ大切な場所でもございます。学校で、総合的な学習の時間を中心に、「地域のひと・もの・こと」を学んでおられると思いますが、まさに、その時間が、地域の文化や歴史、産業を受け継ぐことにつながっているのです。

また、地域に、子どもたちが元気に活動する姿があるということは、地域の方々の心を明るくし、地域に活力を与えてくれます。学校とそこに通う子どもたちは、地域にとって、かけがえのない宝物であります。

人数の少ない学校と他の学校の合併につきましては、子どもたちのより良い成長を考えながら、保護者の方や地域の方々の思いや考えを大事にして、進めていくことが大切だと考えております。

しかしながら、先ほども述べたように、多くの人と関わり、成長することも、子どもたちにとって必要であります。

そこで、今、萩市教育委員会が進めているのは、ICTを活用した遠隔授業です。これは、Web会議システムを利用し、離れている学校どうしをつなぎ、合同授業を行う方法であります。

昨年、この授業を受けた生徒からは、「多くの人と関わって学習ができ、有意義でした」という感想がございました。今年度も、見島小学校と椿西小学校が、Web 会議システムを利用し、萩駅前で行われる「萩イルミネフェスタ」に向けた、総合的な学習に取り組んでおります。

また、むつみ中学校と越ヶ浜中学校は、英語科の遠隔合同授業を通して、いつもの仲間とは異なる友達と、英語でやり取りをする学習を行っております。

それに加え、実際に人と出会い、ふれあうことも大切でございます。佐々並小学校と明木小学校では、日常の遠隔合同授業を実施するとともに、毎週木曜日に対面し、交流学习を行っております。

今後、学校をどのようにしていくのか、ということは、地域の在り方とも関わる、大変重要な課題でございます。

教育委員会としましても、子ども、保護者、地域の方など、多くの人で知恵を出し合い、この課題をより良い方向に向かって解決していけるよう、学校と一緒に取り組んでまいります。

続きまして、「全面的にサポートしてくれる担当課をつくる」についてであります。

萩市教育委員会では、「萩市ひとづくり推進計画」に基づいて、子どもから大人までの、教育に関する業務を行っております。

教育委員会の組織の中には、事務局がおかれ、教育政策課、学校教育課、文化・生涯学習課、スポーツ振興課の4つの課及び萩図書館があり、指導主事、事務職員などが教育に関わる仕事をしております。

上田美侑議員のような中学生を、サポートする課は、学校教育課ですが、必要に応じて、市役所の他の部局や関係機関などと連携して、取り組んでおります。

萩の未来を支える子どもたちの誰もが、将来への夢と志を抱き、自ら学び、自らの可能性を信じ、未来へ向かって挑戦することができるよう、学校規模の大小はあっても、教育の水準を保つように、一層の充実を目指してまいります。

萩市教育委員会としましては、少人数クラスであっても、上田美侑議員のように、将来に向かって高い志をもち、人や社会と積極的に関わる子どもを育てるためにも、ICTを活用した遠隔教育や交流学习を充実させ、より良い学校生活を送れるよう、教育環境を整備してまいります。



質 問 順	4	議員名	和木 隆太郎 議員
理想の萩市	少子高齢化のない、様々な人と共に暮らすことができ、風土を大切にす萩市。		
提 案 項 目	1. 改修した空き家の利用と、デジタル通貨を利用する「萩市留学」をしてはどうか。		

和木隆太郎議員から、「少子高齢化のない、様々な人と共に暮らすことができ、風土を大切にす萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

和木隆太郎議員からのご提案にありましたとおり、萩市では人口減少と高齢化が進み、特に、離島や中山間地域等ではコミュニティの存続も危ぶまれております。

一方、都会を離れ、地方で暮らしたいと考えている人が、若い世代を中心に増えており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響などにより、萩市への移住者もこれまでと比べ増加しております。

このようなことから、魅力ある地域づくりに向けて、市民の皆さんとともに、悩み、考え、そして、新たな一歩を踏み出すことができるような取組を推進し、「暮らし続けたい」「移り住みたい」と思われるようなまちづくりを目指しております。

和木隆太郎議員から、ご提案のありました保育園留学につきましては、現在萩市でも研究しているところです。

保育園留学は、1～2週間程度、家族で地域に滞在しながら、子どもが地域の保育園に通える暮らし体験として提供されており、本年9月現在で、全国30市町の保育所が保育園留学の提唱者である、株式会社キッチハイクと提携して実施されております。

また、その他にも、自治体が直接実施されている事例もございます。

保育園留学については、保護者や子どもにとってのメリットのほか、地域経済への効果も期待されており、地域振興策の一つとして考えられる仕組みであります。

一方で、短期間の滞在となることから、将来的な移住の可能性は考えられるものの、先進地の取組においてもなかなか移住には、つながらない状況にあるようです。

また、受入施設の人材の確保や滞在施設の確保など調整すべきことも多いことから、保育園留学の仕組みや効果を引き続き研究していきたいと考えております。

次に、デジタル地域通貨につきましては、限られた地域内で使用ができる地域通貨を、スマートフォンなどのアプリを使って決済を行う仕組みで、地域経済の活性化のほか、地域での関係づくりのツールとしても活用されている事例もあります。

保育園留学での活用を考えると、例えば、地域通貨を使って市内店舗で育児用品を購入してもらったり、市内の子育てサークルやイベントに参加してもらったりするなど、萩での子育て環境を知ってもらうきっかけとなる、有益なご提案であると考えております。

一方、地域通貨の導入にあたっては、多額の費用が必要になるとともに、地域で循環する仕組みづくりも必要なことから、先進自治体の事例も参考にしながら、研究してまいります。

現在、萩市では、移住促進施策に積極的に取り組んでおり、令和4年度には、51世帯79人の方が、萩市へ移住されております。

さらなる移住促進のために、今年度、離島地区などを対象とした「空き家賃貸化促進事業補助金」を新たに開始したところです。

この制度は、空き家情報バンクへ登録された、若者・子育て世代向けの賃貸物件の改修費を支援するものでございます。

その他、離島を含む中山間地域へ移住される場合には、市街地へ移住される方より、移住支援策の補助金を増額するなど、特に人口減少が進行している地域へ移住を促し、コミュニティが維持できるよう取り組んでおるところでございます。

こうした取組により、離島や中山間地域への、若い世代の移住を促進するとともに、引き続き、「萩の魅力をいかした移住・定住」を推進してまいります。

質 問 順	5	議員名	白上 拓実 議員
理想の萩市	賑やかで安心して暮らせる萩市		
提 案 項 目	1. つかわれていない家をなくし、あいた土地を利用して新しいお店をつくる		

白上拓実議員から、「にぎやかで、安心して暮らせる萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

まず、「空き家」についてであります。

萩市では、近年、人口減少や高齢化が進み、空き家が増えております。

白上拓実議員がご説明されたとおり、空き家が増加すると、建物の倒壊などによる危険性に加え、ゴミの不法投棄など、地域の景観が損なわれることも考えられます。

また、放火などの犯罪リスクも高まり、安心して暮らすことへの不安にも、つながってまいります。

お住まいの地域で、安心して暮らすことができないと、そこに住みたいと思われる方も減少し、白上拓実議員が理想とされる「賑やかな萩市」とは、違った萩市となってしまいます。

このような空き家問題や人口減少の解決策の一つとして、空き家をなくした後の土地を活用し、新しい店舗や飲食店をつくることができないか、とのご提案をいただきました。

新しい店舗や飲食店ができると、買い物や外食が便利になるなど、利便性の向上だけでなく、地域の活性化につながることを期待されます。

しかし、空き家をなくす、つまり解体して活用できるようにするためには、課題がいくつかございます。

まず、空き家を所有している方の理解と協力を得ることが必要となります。

空き家は、本来、所有者が適切に、維持や管理を行う必要があります。

しかし、修繕や解体を行うにしても、費用が必要となることから、そのままとなっている場合や、所有者や管理者が、わからない場合などもございます。

そのため、空き家を解体して、活用するためには、所有している人が、空き家を有効活用するメリットを理解し、協力いただくことが必要となります。

萩市では、空き家情報バンクなどに取り組み、空き家が活用されるよう情報発信を行っておりますが、その他にも、どのような手法が考えられるか、研究してまいりたいと思います。

次に、新しい店舗や飲食店をつくるには、開業したいという思いをもった方が必要となります。

新しい店舗をつくり、経営していくことを、起業といいます。起業に当たっては、資金や従業員、経営計画などを準備する必要があります。

萩市では、起業される場合に、必要な資金を低金利で借りることができる融資制度や、起業後に活用できる補助制度などの支援を行っております。

新しい店舗を開業したいと考えておられる方に、制度の情報が行き届くよう、今後も幅広く紹介してまいります。

さらに、新たな店舗に、子供から高齢者まで、安心して使うことができる、「ふれあいルーム」をつくり、子供を預けることができれば、その間、安心して買い物をすることができるとのアイデアをいただいております。

店舗内に子供が遊べるスペースや、高齢者が集まって、談笑できるスペースを設けることができれば、買い物される方だけでなく、地域の住民が気軽に集まることができ、三世代交流も期待できますが、このような施設をつくるには、事業者の理解や経費が必要となります。

ご提案いただいたアイデアは、空き家対策や、人口減少といった課題に対して効果があり、地域の賑わいをもたらすことが期待されますが、ご説明したとおり、課題をそれぞれ解決していく必要がありますので、萩市としてどのような取り組みができるか、研究してまいります。

白上拓実議員が理想とされる、「賑やかで、安心して暮らすことができる萩市」が実現できるよう、取り組んでまいります。

質 問 順	6	議員名	神川 汐香 議員
理想の萩市	自然がきれいで、あふれていて、観光客も賑わっていて、動物にも優しい萩市		
提 案 項 目	1. 豪華なお花畑をつくる 2. 動物愛護団体を金銭面や宣伝などでサポートしてほしい		

神川汐香議員から「自然がきれいであふれ、観光客で賑わい、動物にも優しい萩市」の実現に向けて、議員の人柄が伝わる、優しい視点から、ご提案をいただきました。

まず、「豪華なお花畑を作ること」についてであります。

私も、神川汐香議員のお考えに同感で、花は、まちに彩りと明るさをもたらすとともに、人を惹きつける魅力があると思っております。

こうした考えから、中山間地域の明るさと元気の弾みとなるよう、現在、各地域で花を植栽し、交流を促進する取組を行っております。

川上地域では「シバザクラ」、田万川地域は「ツツジ」、むつみ地域は「菜の花」と「ひまわり」、須佐地域は「そばの花」、旭地域は「ヒガンバナ」、福栄地域は「インパチェンス」と、住民の皆さんと選んだ花を植栽し、多くの方に見に来ていただき、賑わいのある地域づくりに、繋げていきたいと考えております。

また、この取組は、一か所ではなく住民の皆さんの身近な場所へも、拡大させております。

例えば、須佐地域では、昨年度、豊ヶ淵入口付近に、弥富地区ゆかりの「そばの花」を咲かせましたが、本年度は、須佐駅へと向かう歩道沿いに「チューリップ」を植え、来年の春には、通行者の方々に、色とりどりの花を楽しんでいただけたらと思っております。

また、佐々並地区の重要伝統的建造物群保存地区では、萩市の花の取組に併せ、住民の皆さんが、ご自宅の軒先にプランターを設置され「ナデシコ」の花を育て始められており、花を咲かせる活動が広がりつつあります。

萩市は「花と緑のまちづくり条例」を定め、住民・事業者・行政が相互に協力し、花と緑が織りなす美しいまちづくりを推進しています。

佐々並地区のような活動が広がり、四季を通じて、皆さんの大切に育てた花がまちじゅうに咲く、華やかで明るいまちが、求められている萩市の姿だと思っております。

神川汐香議員のご提案のように、萩市が豪華な花畑をつくる手法もあると思いますが、萩市といたしましては、市民や事業者の皆さんが、ご自身で、花を育て、咲かせる取組を推進してまいりたいと考えております。

花は、見ることで明るさや安らぎを与えてくれますが、自ら大切に育てることで、喜びや幸せも、もたらしてくれます。

萩市は、皆さんとともに、花と緑が織りなす美しいまちづくりを推進してまいりますので、神川汐香議員をはじめ、皆さんもご一緒に、まちじゅうに花が咲く、華やかで明るい萩市を目指してまいりましょう。

次に、「動物愛護団体のサポート」についてであります。

現在、萩市では、4つの動物愛護団体の皆さんが活動をされております。

萩市では、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、数を減らしていくことを目的に、捕獲し（Trap）、不妊・去勢手術を実施し（Neuter）、元の場所に戻す（Return）に取り組む、TNR活動を、動物愛護団体とともに推進し、行っております。

また、平成29年度に犬猫不妊及び去勢手術費補助金を開始し、平成31年度からは動物愛護団体の皆さんからの要望を受けて、それまでは、山口県萩環境保健所に収容された犬猫に限定されていた支援の対象を、地域に生息する飼い主のいない猫にも広げました。

これらは、新たな飼い主への譲渡の促進を図るとともに、殺処分となる猫の減少を目的としており、飼い主のいない猫の一代限りの命を全うする取り組みです。

令和4年度は、不妊・去勢手術への助成24件、TNR活動への助成は14件となっており、合わせて年間38件の猫の不妊・去勢手術への助成を行っているところです。

また、飼い主には、責任を持って最後まで飼育していただくように広報萩やホームページ等で引き続き、お知らせを行ってまいります。

今後も、動物愛護団体の皆さんからご意見をいただきながら、共に協力して、人と動物が幸せに暮らすことのできる優しいまちづくりを目指してまいります。

質 問 順	7	議員名	國光 健太 議員
理想の萩市	楽しくて、いきいきと生活できる萩市		
提 案 項 目	1. 子どもが元気に遊べるように、地区の1つ公園をつくってはどうか		

國光健太議員から、「楽しくて、いきいきと生活できる萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

国では、こども政策の基本理念の一つに居場所の重要性を掲げております。具体的には、「全てのこどもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や、外遊びの機会に接することができ、自己肯定感などを高め、幸せな状態で成長し、社会で活躍していけるようにすることが重要」としております。

また、子どもたちをめぐる問題が複雑化する中、学校や家庭以外で、いつでも安心して過ごせる場所をつくる必要があるとして、議論が進められておるところです。

このような中、萩市では、「萩市子ども・子育て支援事業計画」において、「安心して子育てができる環境づくり」の基本目標を掲げております。

この目標では、「子どもの遊び場・居場所づくり」を推進することにしており、環境整備の充実に取り組んでおります。

子どもが安心して遊び・活動できる場として、中央公園と児童公園、プレーパーク、旧明倫小学校体育館の積極的な活用のほか、児童館や市内にある公共施設等の有効利用を促進しており、多くの子どもの皆さんに利用していただいております。

また、公園・緑地の方針については、「萩市都市計画マスタープラン」において、「シンボルとなる公園づくり」や「バランスの良い身近な公園の整備・充実」に取り組むことしております。

子どもから高齢者まで、あらゆる世代が楽しむことのできる公園として利用促進を図ることや、市民のニーズなどをふまえながら公園の再配置や新設整備を推進するとともに、空き地を活用したポケットパークや緑地化の促進を図ることにしております。

また、「萩市緑の基本計画」においても、身近なレクリエーションの拠点の充実を掲げており、児童遊園や農村公園、小規模緑地の整備・活用などを進めることにしております。

ポケットパーク・オープンスペースの確保や児童遊園の活用、市内にある小中学校の運動場や農山村地域のグラウンドの活用など、様々な空間を活用して子どもの遊び場の充実を図ることにしております。

なお、國光健太議員からご提案のありましたように、全国では空き家を解体して小さな公園にしている事例もございます。

現在、萩市においては、規模の大きな総合公園である中央公園や陶芸の村公園のほか、身近な公園である児童遊園なども多く整備されております。

児童遊園については、市内に45か所あり、地元町内会の方に維持管理していただきながら、多くの方に利用していただいております。

今後も、これらの指針や計画を基に、子どもの皆様のご意見も広く伺いながら、「子どもの遊び場・居場所づくり」を推進してまいります。



質 問 順	8	議員名	刀 祢 湊 議員
理 想 の 萩 市	1. 未来の子どもたちが遊ぶ場所や物などの選択肢が多い萩市 2. がんの早期発見に役立てる萩市		
提 案 項 目	1. 3年から5年間のビジョンをつくり子どもたちが怪我なく楽しめるようなものをつくってはどうか 2. がんの早期発見に役立てる仕組みをつくってはどうか		

刀祢湊議員から、「未来の子どもたちが遊ぶ場所や物などの選択肢が多い萩市」、そして、「がんの早期発見に役立てる萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

まず、「萩市のビジョンについて」であります。

萩市では、まちの将来像やまちづくりの方向性を市民の皆さんと共有し、市民と行政が一体となって進めるまちづくりの指針として萩市基本ビジョンを策定しており、2027年度までの10年間を計画期間としております。

基本ビジョンの中で示している「めざすまちづくり」、いわゆる基本方針の7つのうちの一つに「子育ての幸せが実感できるまちづくり」を掲げており、その具体的な取組の中で「子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり」を進めているところであります。

また、「萩市子ども・子育て支援事業計画」においては、子どもの遊び場・居場所づくりを推進することを掲げております。遊び場づくりとしては、児童公園やプレーパークの活用、旧明倫小学校体育館の活用に取り組むこととし、居場所づくりとしては、公園などの施設の充実や移動児童館事業に取り組むことを計画しております。

なお、この取組の具体例の一つとして、旧明倫小学校体育館を「あそぼ一舎」として整備し、令和3年1月にオープンしたところであり、1年を通じて多くの子どもの方々に利用いただいております。

続きまして、ご質問のありました校則についてです。

萩市教育委員会では、各学校の定める校則について、必要かつ合理的な範囲を外れているものは積極的に見直すよう通知しています。

ただ、校則一つ一つには、そのきまりの意味、目的が存在しています。現在、遊ぶ場所や物が、校則によって制限されているということですが、制限されなければならない理由も必ずそこにあるはずで、中学生が、友達との楽しい思い出づくりの場としてカラオケやゲームセンター等が本当に必要なのかどうか、改めて考えてみてください。

児童生徒の皆さんが、校則のあり方について考えることはとても大切です。自ら考え、議論することができる内容であれば、生徒総会の議題にしたり、学校運営協議会において、保護者や地域の方と話し合ったりしてみてください。そのことが、より良い校則につながっていくと思います。

今後も、子どもの皆さんのご意見も広く伺いながら、「子どもの遊び場・居場所づくり」を推進してまいります。

次に、「がんの早期発見」について、お答えいたします。

日本人の2人に1人は「がん」を患い、3人に1人が「がん」で亡くなっております。萩市においても、死亡原因の第1位は「がん」です。

また、「がん」は進行すると治りにくく、治療における体への負担も大きくなることから「予防」・「早期発見」・「早期治療」が望まれる、注意すべき病気です。

現在、萩市では、様々な病気の発症リスクが高まる40歳以上の方を検診の対象としており、特に節目となる40歳の方には無料検診を実施するなど、定期的ながん検診等の受診を推進しております。

また、毎年5月には、検診の日程や種類、申し込み方法等を掲載した「萩市保健ガイド」を、全世帯にお届けしております。

刀祢 湊議員より、がん検診の申込用紙を各家庭に配布してはとの、ご提案をいただきました。

現在、萩市では、検診の対象となる方へ、個別にハガキでご連絡し、電話でお申込みをいただくこととしております。

また、本年度の集団健診から、電話申込に加え、SNSを通じて、24時間、申し込めるように改善したところであります。

今後も、より多くの方が受診されるよう、実施方法の工夫に努めてまいります。刀祢 湊議員が、おっしゃられるとおり、「がん」に注目する社会を創っていくことが、生命、健康を守るために、最も重要なことだと考えております。

また、ご提案いただきました条例の制定や、がん検診の受診義務化も、その手段の一つと考えますが、市民一人一人が、「がん」に対する正しい知識を持ち、自ら検診を受診するよう促すことが、重要だと考えております。

こうした考えから、現在萩市では、がん検診の受診を勧める他、予防をテーマとした健康教室などを実施しており、まずは、市民の「がん」に対する理解増進を図り、自ら健康を守る意識を高めていくよう努めてまいります。

いつまでも、健康で元気に暮らすことは、多くの人の願いであります。

市民の皆さんが、生涯を通じて、住み慣れた地域で、いつまでも、安心して暮らせる健康づくりに取り組んでまいります。

刀裨 湊議員は、「遊び」と「健康」を切り口に、理想の萩市は、「笑顔溢れる萩市」だと、私たちに伝えていただきました。私も、まったく同感でございます。

私は、「明るく元気な萩市」と表現しておりますが、刀裨 湊議員の想いを、しっかりと受け止め、誰もが元気で、楽しく、いきいきと暮らし、笑顔の溢れるまちを目指してまいります。

質 問 順	9	議員名	中島 有咲 議員
理想の萩市	若い人や子育て世代の方々が「住みたい」と思える萩市		
提 案 項 目	1. 学校などのまだ設備が整っていない施設の整備について 2. CMやSNSを活用した情報発信について		

中島有咲議員から、「若い人や子育て世代の方々が、住みたいと思えるまち」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

はじめに、「学校などのまだ設備が整っていない施設の整備」についてでございます。

萩市は、広大な面積を有し、市役所、学校、病院など、約700を超える公共施設を保有しております。

これらの公共施設等の管理の基本方針として、萩市公共施設等の総合的な管理計画を策定し、公共施設の適正管理をすすめているところであります。

萩市内の学校施設においても、建物を長く使用していくための「長寿命化計画」を立てて、破損や故障等が発生する前に維持補修工事を行う「予防保全」を計画的に実施しております。今年度については、学校施設に求められる機能や性能を確保するため、萩東中学校の予防保全工事を行っておるところです。

このほかにも、エアコン設置やトイレの洋式化事業を推進することにより、児童生徒が、安全で安心な学校生活を送れるよう環境整備を行っております。

特に、中島有咲議員からご提案いただきました、まだエアコンがついていない教室へのエアコン設置は、萩市PTA連合会からもご要望いただいております。エアコンの設置につきましては、最優先課題として受けとめており、学校での調査を行い、中でも利用頻度の高い特別教室への設置に向けて準備を進めております。

児童生徒が一日の大半を過ごす学校施設について、引き続き、安心安全に過ごせるよう、環境整備を進めてまいります。

続いて、中島有咲議員から、老朽化が進んでいる公共施設のトイレの取り替えについてご提案をいただきました。

萩市では、平成22年1月に、公共施設のトイレにかかる整備方針をつくり、トイレの洋式化や、多目的トイレの新設を計画的に進めてまいりました。

方針策定後におきましても、誰もが利用しやすいものとなるよう、また、観光客等へのおもてなしの充実を図る観点から、温水洗浄便座の設置や、男女のトイレの使用時間を考慮して、男性小便器数と女性便器数の比率を1対2にするなどの改訂を行ってまいりました。

また、直近では、トイレの洋式化を推進するため、公共施設トイレの洋式化の優先順位の考え方等につきましても、整備方針に明記したところです。

この整備方針に基づき、高齢者をはじめ誰もが利用しやすい施設整備を目指し、公共施設トイレの整備を進めてまいります。

今後も、誰もが安心して利用できる施設の整備を行うとともに、若い人や子育て世代の方々が、子育てしたいと思うまちとなるよう、取り組んでまいります。

次に、CMやSNSを活用した情報発信について、お答えいたします。

萩市におきましては、人口減少を最重要課題として捉え、移住・定住を促進するために、様々な施策に取り組んでおります。

昨年4月、萩・明倫学舎4号館に開設しました、定住総合相談窓口「はぎポルト-暮らしの案内所-」では、観光ガイドブックには掲載されていない、ローカルな暮らしの魅力を市外に広くPRし、萩市への移住を促進する取り組みを行っているところです。

そこで、中島有咲議員ご提案のとおり、若い方や子育て世代の方々に、萩市が、魅力ある、住みよいまちであることをお伝えするために、テレビCMやSNSでの「萩にゃん。」の活用は有効な手段だと考えております。

テレビCMにつきましては、企業のCMで、萩市をロケ地として選んでいただくことも重要であると考えており、ロケ地の誘致にも積極的に取り組んでいるところであります。

以前にテレビCMで放送され、今でもユーチューブなどで、ご覧いただくことができる大和ハウスのコマーシャルでは、萩の美しいまちなみや観光スポット、萩焼、萩の暮らしなどが全国に放送され、多くの方に萩の魅力を知らうことができたと思っております。

また、現在、萩市では、ホームページやインスタグラム、フェイスブック、エックスを活用して、情報発信を行っております。

中島有咲議員ご提案の、動画共有アプリ「TikTok（ティックトック）」につきましては、10代から20代の若いユーザーが多いため、若年層に向けた情報発信に有効であると考えております。

しかしながら、ティックトックにおきましては、2020年8月に中国政府側への情報流出の懸念が発覚し、その後、多くの自治体は広報での利用を停止しております。

一方で、ティックトックを活用した情報発信を継続する自治体や、ティックトックを運営する企業の日本法人と連携協定を結ぶ自治体もあり、メリット、デメリットがあると考えます。

いずれにいたしましても、ご提案のとおり、萩市の魅力や萩に移住した際のメリットなど、ターゲット層にあった情報を提供するため、より効果的な手法によるPRに取り組んでまいります。

質 問 順	10	議員名	中村 暖 議員
理想の萩市	市民全員が笑顔で幸せに生活できる萩市		
提 案 項 目	1. カーブミラーの増設と清掃ボランティアについて		

中村暖議員から、「市民全員が笑顔で幸せに生活できるまち」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

中村暖議員から最初にお話しがありました、「萩市民全員が笑顔で幸せに生活できるまちにしたい」という思いを伺い、とても感動いたしました。

私が常日頃から申し上げている「明るく元気な萩」と同じ思いであることがわかり、大変嬉しく感じたところでございます。

さて、ご提案のカーブミラーの増設と清掃ボランティアについてであります。

萩市は、中村暖議員もご承知のとおり、城下町として発展してきた歴史的な町であります。昔ながらの景観や歴史的な町並みが多く残っており、日本のみならず海外からも多くの観光客が訪れられております。

関ヶ原の戦いに敗れた毛利輝元が、萩に築城する際に、碁盤目状に町割りが行われました。現在も、その当時の町割りが多く残っており、道路につきましても、約9割が拡幅されないまま残っております。

このような中で、交差点やカーブなど、通行するにあたって視界が悪い箇所もあろうかと思われまます。

そのような危険な状況を解決するために、中村暖議員ご提案のカーブミラーを設置することは、解決策の1つであります。

また、現場の状況によりカーブミラーの設置が困難な場合には、「停止線」や「止まれ」などの路面への表示が有効な場合もございます。

これまでもカーブミラーの設置につきましては、市民の皆様から、多くの要望をいただいております。

要望をいただく度に、現地を確認し、現場状況や必要性を確認した上で、設置ができるかどうかを検討し、対応している状況であります。

また、道路にはそれぞれ管理者がおりますので、カーブミラーの設置につきましては、国道であれば国が、県道であれば山口県が、市道であれば萩市が、それぞれ対応し、私道などであればその所有者などが対応することとなります。

そのため、市道に関するカーブミラーの設置につきましては萩市の土木課までご相談をいただければと考えております。

また、県道につきましても、萩市から県へお伝えすることができますので市の土木課へご相談ください。

次に、カーブミラーを定期的に清掃するボランティア団体の設置についてであります。

カーブミラーの清掃につきましては、道路上で作業を行う必要があり、事故が発生する危険性がございます。

そのため、ボランティアの方に、清掃を行っていただくことは、中々、難しいことであると考えております。

カーブミラーの管理は、各道路管理者が適切に維持管理を行う必要がございますので、お気付きの点などございましたら、まずは、市の土木課へご連絡ください。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

これからも引き続き、市民の皆様ので安全で安心な生活を守るためにカーブミラーの設置や路面表示などを検討し、道路の適切な維持管理に努めてまいります。

最初に述べましたとおり、中村暖議員の「萩を、全員が笑って過ごせるようなまちにしていきたい」という思いは、私の思いと全く同じでございます。

これからも明るく元気な萩をつくるために、ともに頑張ってみましょう。



質 問 順	1 1	議員名	松嶋 波 議員
理想の萩市	安心安全で誰でも住みやすい萩市		
提 案 項 目	1. いろいろな場所に点字ブロックを設置してはどうか 2. 学生向けのカフェの設置について		

松嶋波議員から、「安心安全で誰でも住みやすいまち」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

はじめに、「様々な場所に、点字ブロックを設置してはどうか」との、ご提案にお答えいたします。

点字ブロックは、正式名称を「視覚障害者誘導用ブロック」と呼びます。

視覚に障がいがある方を、日常生活において利用される交通機関、官公庁施設、福祉施設などへ、安全かつ円滑に、誘導するため、地面や床に設置されているブロックのことです。

松嶋 波議員から、様々な場所に点字ブロックをとの、ご提案をいただきましたが、点字ブロックにより、目的地へ向かう複数のルートが存在すると、誘導性が損なわれ、視覚に障がいのある方が、円滑に目的地に辿り着けないことが考えられます。

そのため、点字ブロックは、全ての歩道に設置するのではなく、最短距離で目的地に辿りつける、極力1つのルートに設置することが望ましいとされております。

また、施設内につきましては、例えば、萩市役所本庁舎や総合福祉センターでは、出入口や案内窓口まで、点字ブロックにより誘導し、その後は、係員が目的をお伺いし、ご案内することとしております。

一方、視覚に障がいのある方が不慣れな場所へ外出される際には、福祉施設等のヘルパーなどが付き添い、移動の支援を行っております。

このように、環境の整備やサービスの提供により、視覚に障がいがある方の社会生活を支援しているところであります。

松嶋 波議員は、ご自身の体験を基に、安全安心で、誰もが住み良いまちが、理想の萩市だと、私たちに、伝えていただきました。

私どもも、松嶋 波議員のお考えに、同感であります。

萩市では、全ての人に、やさしい社会の実現のため、障がいがある方も、高齢者の方も、全ての方が、利用しやすい「ユニバーサルデザイン」に配慮した、まちづくりに、取り組んでいるところであります。

今後も、障がいがある方のご意見も伺いながら、誰もが、住み良いまちづくりに取り組んでまいります。

次に、松島 波議員から、子どもたちがゆったり過ごせる場所が少ないということから、「学生向けのカフェ」をつくることについて、ご提案をいただきました。

現在、学校や家庭以外で、子どもの遊び場や居場所として、児童館、公民館、図書館、スポーツ少年団、公園、プレーパークなどがあります。

このほかにも、子どもも、大人も安心して過ごすことができ、食事が提供される子ども食堂や、学習支援、相談事業といった「子どもの居場所づくり」に取り組む民間の団体があります。萩市では、この団体に対して、安定的・継続的に事業が実施できるよう支援を行っているところです。

松島 波議員からご提案いただきました、「学生向けのカフェ」とは少し違うかもしれませんが、東京都西東京市では、市内の公立中学校内で「子ども放課後カフェ」が、地域の大人たちにより定期的に開催されていると聞いております。ここでは、子どもたちが、無料で提供される飲み物を飲みながら、トランプなどのゲームをしたり、おしゃべりをしたり、自由に時間を過ごすことができるようになっているそうです。

このような子どもの居場所については、安心、安全が確保されることが、とても重要です。今後、子どもや若者自身の声を聴き、子どもや若者の視点に立った居場所を確保することも必要であることから、学校へも情報提供してまいりたいと考えております。

萩市教育委員会としましては、子どもや若者が、それぞれのニーズに応じた居場所を持つことにより、様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や外遊びを通して、自己肯定感などを高め、幸せな状態で成長し、社会で活躍していけるようになることが重要と考えております。

引き続き、みなさんの意見を伺いながら、安心・安全で誰もが住みやすいまち、住みたくなるまちになるよう、努めてまいります。

質 問 順	1 2	議員名	山野井 彩純 議員
理想の萩市	観光業が今よりも盛んな萩市		
提 案 項 目	1. 既存の観光名所を映えするスポットにてはどうか		

山野井彩純議員から、「観光業が今よりも盛んな萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

まず、「SNSでの発信」についてであります。

総務省が発表した「令和4年通信利用動向調査」では、インターネット利用者の割合は13歳から59歳の各年齢層で90%を超えております。

SNSを利用している方の割合は平均で80%と多くの方が利用されており、毎年増加傾向にあります。年代別に見ると、13歳から19歳が92.0%と最も多く、80歳以上でも53.8%の方が利用されています。

こうしたことから、萩市といたしましても、SNSによる情報発信の重要性については、十分認識しており、より多くの方から検索されるような仕組みづくりに努めているところでございます。

例えば、着物ウィーク等での写真コンテストやプレゼント企画などを行う際には、SNSをフォローしてもらうことを応募条件にしたり、椿まつりなどで写真映(ば)えするスポットを設置し、インスタグラム等に投稿してもらう際には「#(ハッシュタグ)」を付けることをお願いするなど、SNSの特性を活かした情報発信を心がけております。

その結果、萩市観光課及び萩市観光協会のSNSのフォロワー数も少しずつですが増加してきており、令和5年10月現在で、約8,500人の方にフォローいただいております。

今回ご提案の、新たな映えスポットの設定についてであります。

観光にお越しになられた方が映えスポットをSNSに投稿することで、情報が拡散される。そして、この拡散された投稿がきっかけとなり、新たに興味を持たれた方が、萩に来て写真を撮る。

それを、またSNSに投稿することで、さらに情報が拡散される、といった、いわゆる「バズる」投稿は新たな観光客獲得のために非常に有効な手段であると認識しております。

観光客が自ら自発的に情報発信をおこなっていただくためには、新たに写真映えするスポットを創ることも一つの方法ではございますが、山野井彩純議員ご提案のとおり、今ある観光スポットも、見せ方ひとつで、SNSに投稿したくなるような新たな映えスポットになるものと考えております。

スマートフォンひとつで、きれいな写真が撮影でき、撮っても楽しい、友達にも自慢できる、といったことも旅の目的の一つになっております。

私も、萩ファンのひとりとして、様々な出来事や地域のイベント、観光スポットなどを日々発信しておりますが、SNSの発信は、皆さんのような若い世代の方のほうが得意だと考えております。

山野井彩純議員をはじめ、子ども議員の皆さんにおかれましても、ご友人と一緒にになって、萩市の新たな映えスポットを探して、SNSに投稿していただきたいと思っております。

皆さんの斬新なアイデアが、話題のスポットとなりますことを期待しております。

萩市といたしましても、引き続き、一人でも多くの方に萩へお越しいただけますよう、自然やまちなみなどの映えスポットを、効果的にプロモーションしていくとともに、さらなる情報発信に努めてまいります。

質 問 順	13	議員名	山本 真菜 議員
理想の萩市	たくさんの豊かな自然をきれいに保てている萩市		
提 案 項 目	2. ゴミ拾い大会の開催 ・たくさん集めた人には賞品、賞金をプレゼント ・萩の特産品の活用する		

山本真菜議員から、「たくさんの豊かな自然をきれいに保てている萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

はじめに、「河川海岸一斉清掃の参加人数や清掃範囲に限りがあり、きれいになったという実感が無い。」とのご指摘であります。

ここで一句、川柳をご紹介します。

「半世紀 市民が繋(つな)ぐ 河川美化」

「半世紀 市民が繋(つな)ぐ 河川美化」

これは、昭和48年から続いている「河川海岸一斉清掃」が、今年で、ちょうど50年を迎えることを記念して、市民から寄せられたものであります。

この清掃活動は、皆さんのお祖父さん・お祖母さん以上の世代から始まり、親御さんの世代も参加し、現在も3世代総参加で実施されるなど、その歴史の長さや規模において、まさに日本一のボランティア清掃活動であると言えます。

しかしながら、山本真菜議員ご指摘のとおり、近年、少子高齢化による人口減少や猛暑などの影響により、各地域において、清掃範囲の縮小や参加人数が減少する傾向にあります。

また、「最近、たばこの吸い殻や空き缶などのポイ捨てが多くなっている。」と、ご指摘もいただきました。

萩市では、平成6年3月に、「美しいまち・萩」を実現するため市民有志が立ち上がり、「日本一ごみのないまち・萩」を宣言いたしました。

地域美化推進制度である「おまかせいど」には、51団体と112人が登録され、多くの団体・市民の皆さんが市内各地で美化活動を実践されております。

一方で、ご指摘にありますように、最近、たばこの吸い殻や空き缶のポイ捨てを、数多く見かけるようになり、非常に残念な思いであります。

山本真菜議員は、「萩の魅力である たくさんの豊かな自然をきれいに保ちたい、これからも萩のきれいな景色を眺めていたい。また、そんな人を増やしたい。」との思いから、萩のまちをきれいに保つための課題解決に向けた取組について、ご提案をいただきました。

具体的には、萩市全体でゴミ拾い大会を開催し、集めたゴミの量を競い、上位の方に賞品をプレゼントすることで、参加者を増やし、広い範囲をきれいにし、また、その賞品を萩の特産品とすることで、もっと多くの方に萩の魅力を知っていただくことができるという意見であります。

山本真菜議員ご提案のとおり、広い範囲をきれいにするためには、多くの方の清掃活動への参加が必要となります。

ゴミ拾い大会を開催して賞品をプレゼントするという案は、参加する皆さんのやる気が上がったり、楽しみながら清掃活動を行うことができ、それが、多くの方の参加を促すといった効果が期待できる良い仕組みであるように思います。

また、賞品を萩の特産品とすることで、萩の魅力をもっと多くの方に知っていただける良い機会となり、まさに一石二鳥、三鳥にもなる考えであります。

一方で、人口減少が進む中、広大な面積を有する萩市において、まちをきれいに保つためには、ゴミを捨てるだけでなく、ゴミのポイ捨てをさせないといった視点も重要であり、私たち一人ひとりの環境美化に対する意識を高め、共有していくことが、大切であると思います。

私も、山本真菜議員同様、山や海など自然豊かな萩市が大好きであります。ご提案いただいた案を含め、どのような手法が効果的であるか考えてみたいと思います。

萩の豊かな自然ときれいなまちを守っていくことは、市民みんなの願いであります。山本真菜議員が将来大人になり、その次の世代にも、自然豊かな萩を、引き継いでいけるよう、一層の取組を進めてまいります。

質 問 順	14	議員名	田中 優成 議員
理想の萩市	市民の一人ひとりが笑いあえる萩市		
提 案 項 目	1. 萩産食材で作った料理を、空き家を活用した飲食店で食べてもらえば、もっと萩市の良さに気付いてもらえる		

田中優成議員から、「市民の1人1人が笑いあえる萩市」の実現に向けて、ご提案をいただきました。

まず、「萩産食材」についてであります。

萩市は、豊富な農林水産資源や自然環境、また、歴史や文化資源に富む観光地として、全国的にも認知度が高く、一定のブランドイメージが定着しております。

萩市では、この誇るべき萩ブランドを産業振興に生かすため、農協や漁協、生産者の皆様と協力し、「萩たまげなす」や「萩の瀬つきアジ」、とりわけ大井地区では「大井の玉葱(たまねぎ)」や「萩・大井の甘夏」など、萩産食材のブランド化に取り組んでいるところです。

最近の例では、今年3月、桜の開花時期に最盛期を迎えるマフグに「桜ふぐ」と愛称をつけ、地酒や旬の食材に合う、新たなメニューの開発を行い、付加価値を向上させ、利益につなげる仕組みを構築しております。

次に「空き家を活用した飲食店」についてであります。

近年、萩市におきましても全国の例にもれず空き家の数が増え続けております。

今後、建物の倒壊などによる危険性に加え、防災、防犯、公衆衛生、景観への影響などの問題が一層深刻化することが懸念されており、差し迫った課題となっております。

この度、田中優成議員から、これまで培ってきた萩ブランドに空き家対策を組み合わせることにより、新たな観光資源として生まれ変わらせるためのご提案をいただきました。

空き家を活用し、レストランを造るというアイデアは大変魅力的であり、また、地域を元気にするため、地域で生産されたものをその地域で消費する「地産・地消」の取組を進めることは非常に大切なことだと考えております。

近年、萩市におきましても、民間事業者が空き家や古民家をおしゃれなレストランやカフェなどに活用し、萩産食材で作った料理を提供する飲食店が見られるようになりました。

店舗の外観や内装を、地域性を活かした「萩らしい」イメージで統一することで、温かみのあるサービスと相まって、大変、人気を集めております。

萩市では、これらの取組を進めるため、インターネット上に食のホームページ「萩G o c h i はぎのごちそう」を立ち上げ、萩産食材の紹介をはじめ、その食材を食べることができる飲食店などを広くPRしております。

また、萩産食材の生産者や飲食店のオーナーを取材して、創業の由来やこだわり、新たに始めようとする方へのアドバイスなどの情報発信も行っており、とりわけ空き家を利用した飲食店の特集は、大変人気がございます。

このように、萩産食材をきっかけとして、萩市のイメージや資源を積極的に発信し、萩ブランドのイメージを向上させることは、まちや商品の価値を高め、地域産業の底上げにつながると考えております。

引き続き、全国的に高い知名度を誇る萩ブランドを産業振興に最大限に生かしていくことにより、多くの方に萩市を訪れていただき、萩市の良さに気付いてもらえるよう、取り組んでまいります。

最後に、私は公約として「五つのよし」を掲げ、「明るく元気な萩市」をつくることを目指しており、市長就任以来、その実現に向けて取り組んでいるところであります。

そのためには、まず地域が元気になることが重要であると、常日頃から様々な場面を通じて、お伝えしております。

市内外の関係団体などとも連携して、ここまで申しあげました取組を着実に実施することにより、田中優成議員ご提案の「市民の1人1人が笑いあえる萩市」の実現に取り組んでまいります。



質 問 順	1 5	議員名	吉井 八重 議員
理想の萩市	萩に萩城を復元して城下町にする		
提案項目	1. 城を建てることにより観光客が増加するのではないか		

吉井八重議員から、「魅力ある歴史や文化をいかし、賑わっている観光地域をめざす」ために、「萩城を復元してはどうだろうか」とのご提案をいただきました。

萩城跡は、毛利輝元公が築いた萩城の石垣と堀の一部が、当時の姿をとどめており、国の史跡に指定されており

また、この萩城跡と、堀内地区、菊屋家や久保田家のある城下町の一部は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産にもなっております。

吉井八重議員の、萩城の復元が、萩市の活性化の一つになるというお考えには、私も全く同意見でございます。

しかしながら、天守や矢倉などの建物が解体され、石垣と堀だけが残る現在の萩城跡の姿は、明治という新しい時代に移った歴史を物語るものであり、このことが世界遺産として重要な要素となっております。

このため、世界遺産の専門家から、現在の状態を保全するよう、厳しく制約を受けている状況であります。

こうしたことから、日本100名城の一つとして選定されている萩城の当時の姿を、楽しんでいただくため、スマートフォンやタブレット端末を通して城跡の石垣をご覧いただくと、目の前に萩城の天守閣があるかのような映像をご覧いただけるようにしております。

また、大分県の中津城でのお城関係のグッズ販売についてご紹介がございました。

吉井八重議員のおっしゃるとおり、中津城の天守は、かつての萩城の天守をモデルとして、昭和の時代に再建されたものであります。

萩城跡でも、お城関係のグッズといたしまして、城主 毛利家の家紋や城の名前、城を訪れた日時を印刷した、萩城跡御城印という記念品を販売しております。

歴史愛好家はもとより、観光客や市民の皆様大変喜ばれております。

萩城跡は、春には、600本のソメイヨシノが咲き誇る桜の名所でもあり、観光客はもとより、憩いの場として多くの市民の皆様が、萩城跡を訪れております。

また、白砂青松の景観が美しい菊ヶ浜、自然豊かな石彫公園や、萩八景遊覧船の乗り場と隣接しているなど、自然と歴史が織りなす魅力的な観光資源となっております。

このように、萩市では、萩城跡を活用し、様々、観光振興を図っているところであります。

吉井八重議員も私と同じく、お城が大好きとお見受けしました。

ぜひ、この萩城跡の魅力を、皆さんにお伝えいただきますよう、お願いいたします。

# 子ども議員以外に対する回答

## 理想の萩市

1. 市民たちが誇れる市／萩東中学校生徒
2. 不便がなく、清潔でみんなが胸を張って誇れる萩市／萩東中学校生徒

## アイデア

1. みんなが利用できる公共の建物を増やす
2. 公共施設を増やす

## 萩市からの回答

令和5年8月末現在、市は約1,740棟、延床面積約413,600㎡の公共施設を保有しています。

一方、市の総人口は43,014人であるため、人口一人当たりの面積は約10㎡と、全国平均の約3倍にもなり、公共施設を増やせば、公共施設の維持管理費が今以上に市民の負担になっていくものと考えられます。

また、多くの施設が老朽化しているため、今後は公共施設の更新時には、施設を集約するなどして、施設の総数を削減するとともに、多くの方が利用しやすい公共施設づくりに取り組んでまいります。

## 理想の萩市

3. 小さい子供からお年寄りまでが助け合いながら生活し、災害時などにもスムーズに避難ができる笑顔の絶えない萩市／萩光塩学院中学校生徒

## アイデア

3. 災害時に1人で避難が難しい方の住所を示したマップを近所に配る。

## 萩市からの回答

災害時に多くの方の命を救うためには、地域の防災力の強化が必要です。萩市では、町内会へ出前講座に赴き、避難に支援が必要な方のお宅や避難所へのルートなどを記載した地図作りも支援しています。

今後も、助け合いによる地域防災力の向上に努めてまいります。

<b>理想の萩市</b>
4. 植物（特に夏みかん）に恵まれ、伝統的な衣食住がたくさんある観光客にも好まれるような萩！／萩光塩学院中学校生徒
<b>アイデア</b>
4. 萩の有名なもので食関係のお店を増やす。また、そのお店の情報を紙やネットなどで伝える
<b>萩市からの回答</b>
<p>地域を元気にするため、地域で生産されたものをその地域で消費する「地産・地消」の取組を進めることは非常に大切なことだと思います。近年、萩市においても、萩産食材で作った料理を提供する飲食店が増えており、大変、人気を集めています。</p> <p>萩市では、これらの取組を進めるため、インターネット上に食のホームページ「萩Gochiはぎのごちそう」を立ち上げ、萩産食材の紹介をはじめ、その食材を食べることができる飲食店などを広くPRしています。</p>

<b>理想の萩市</b>
5. 人がたくさん集まる場所／見島中学校生徒
6. 人がいっぱいいる萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
5. 萩市にしかないものを作る（例）夏みかんを使用したデザート
6. 特産品をもっとアピールする
<b>萩市からの回答</b>
<p>萩市では、農林水産品や工芸品などの特産品について、既にブランド化されているものに加え、萩市外の消費者に向けて、萩にしかないものを選定し、首都圏などへの販路拡大に取り組んでいます。</p> <p>今後は、若い世代の誘客や外国人旅行者を意識した取組として、萩の歴史・文化資源の情報発信に加え、ジオパークなどの自然資源、萩の「食」などの資源を「萩ブランド」として生まれ変わらせ、積極的な情報発信に取り組んでいきます。</p>

## 理想の萩市

7. もっと楽しい町／萩東中学校生徒
8. たのしい町／萩東中学校生徒
9. 平等・公平／萩東中学校生徒

## アイデア

7. フリーWi-Fiを増やす
8. 自由に遊べるWi-Fiが通っている施設をつくる
9. freeWi-Fiがあるところを増やしてほしい

## 萩市からの回答

フリーWi-Fiについては、携帯電話事業者等がサービスを提供しているものがあります。また、個別のWi-Fiスポットの設置は、それぞれの施設管理者等で目的に応じて設置をすることを基本としています。

萩市では、博物館や図書館、主要観光地、避難所など、施設等の利用促進や防災拠点、災害対策の強化が望まれる公的拠点にWi-Fiスポットを整備・運営しており、今年度は、新たにキャンプ場等への設置を行っているところです。また、各ご家庭等においても、高速・大容量の光ファイバーによるWi-Fi環境が使用できるように、民間事業者での光ファイバー網等の整備が進まない地域・地区等については、市が整備を行ったり、民間事業者による整備や運営に支援を行っています。

今後も、公共施設等で「市民が情報収集等に活用できるWi-Fiスポット」の設置については、その目的等を踏まえて検討してまいります。

## 理想の萩市

10. 観光客が多く帰るときにはもう一度来たいと思われるような町。笑顔があふれ、挨拶が飛び交う町／萩東中学校生徒
11. 明るい萩市／萩東中学校生徒
12. あいさつが飛び交う元気な町／萩東中学校生徒
13. あいさつが飛び交う元気な町／萩東中学校生徒
14. 平和で明るい町／萩東中学校生徒
15. 犯罪のない、明るい町／萩東中学校生徒
16. 平和で明るい町／萩東中学校生徒
17. 笑顔が絶えない萩市／萩東中学校生徒
18. ポイ捨ての少ない町、みんなであいさつをして明るくなる町／萩東中学校生徒
19. 元気よく挨拶ができて、地域の人たちと仲がよい／萩東中学校生徒
20. 地域の人が温かい／萩東中学校生徒
21. 自然豊かで温かい人たちでいっぱい町／萩東中学校生徒
22. 自然豊か、みんなが助け合える、ゴミが落ちていない、元気な萩市／萩東中学校生徒
23. 明るく平等な萩市／萩東中学校生徒

## アイデア

10. あいさつを身近な人から毎月行う
11. あいさつを運動
12. あいさつをすることを呼びかける
13. あいさつ運動を広める
14. 相手の顔を見て、あいさつをする
15. 萩全体あいさつ運動
16. 相手の顔を見てあいさつをする
17. 大きな声であいさつをする
18. あいさつ運動をする
19. あいさつ運動をする
20. あいさつしたら、あいさつし返す
21. 萩市民の人たちに大きなあいさつをして習慣化させること
22. あいさつ運動をする
23. 出会った人や地域の人にあいさつをたくさんする

## 萩市からの回答

萩市では、全国的にも展開されています「おはようございます」、「ありがとうございます」、「しつれいします」、「すみません」の頭文字をとった「オアシス運動」を推進しています。

この運動は、各地域、各学校を中心に、それぞれ取り組まれておりますが、地域や学校、職場等のあらゆる場面において、大人や子ども関係なく、全ての世代が挨拶を交わすことで、挨拶の浸透が図られ、明るく元気なまちづくりにつながります。

こうした取組に加えまして、毎年、期間を定めて行う交通安全運動と併せた挨拶運動にも取り組んでみたいと考えています。

交通安全運動には、多くの方が市内各所で立哨され、挨拶する機会が多いことや、運動に参加される方も、通行される方も、それぞれが積極的に挨拶を交わすことで、お互いが明るい気持ちになり、挨拶の輪が広がりやすいのではないかと考えます。

このほかにも、地域の中で挨拶をする一番身近な場面として、登下校時に行われている見守り活動があります。立哨される「見守り隊」の皆さんは、いつも元気よく挨拶をされます。

こうした場面においても、児童・生徒の皆さんだけでなく、われわれ大人も含め、積極的に挨拶を交わすことで、挨拶の輪が広がっていくものと考えますので、日常の様々な場面において、積極的な挨拶を促してまいります。

皆さんも、ぜひ、元気のよい挨拶を実践していただき、笑顔あふれる元気な萩市を目指して一緒に取り組んでいきましょう。

## 理想の萩市

24. 小さい子供からお年寄りまでが助け合いながら生活し、災害時などにもスムーズに避難ができる笑顔の絶えない萩市／萩光塩学院中学校生徒
25. 年齢関係なく誰もが安心して暮らせる市、活気のある市／萩光塩学院中学校生徒
26. 明るい萩市／萩東中学校生徒
27. 元気よく挨拶ができて、地域の人たちと仲がよい／萩東中学校生徒
28. 平和な町／萩東中学校生徒
29. 色んな年の人がいて観光客がたくさん来る市／萩東中学校生徒

## アイデア

24. 子供からお年寄りまでが参加できる地域の行事を増やす
25. コロナ禍で中止になってきた行事などを復活させる
26. 行事を増やす
27. 地域の人たちとの交流をふやす
28. 地域の人交流できる場所をつくる
29. みんなが楽しめる行事を増やす

## 萩市からの回答

地域の人たちの交流の場として、皆さんがお住まいの地区に町内会・自治会組織（以下：町内会と記載）があります。

町内会ごとに、活動や行事の内容等は異なりますが、住民相互の親睦を深めることや、身近な問題を一緒に解決することなどを目的に、おまつりや清掃活動などの行事が実施されています。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で、町内会行事の多くが延期や中止となりましたが、現在ではコロナ前に戻り、再開されています。

萩市では、こうした町内会の活動が積極的に行えるよう、運営や集会所の建設、活動に必要な備品等の整備などに対し、支援を行っています。

各地区で、おまつりや清掃活動などの行事に多くの方が参加され、挨拶や会話が賑やかに聞こえてくる「明るく元気な萩市」を目指し、今後も住民相互の交流が進むよう取り組んでまいります。

## 理想の萩市

30. 事故がない萩市／萩東中学校生徒
31. 事故が少ない萩市／萩東中学校生徒
32. 事故が少ない萩市／萩東中学校生徒

## アイデア

- 30. 車の事故をなくす（安全運転）
- 31. ヘルメットを積極的にかぶる
- 32. 安全運転をする

## 萩市からの回答

交通事故のない安全で安心な社会は、みんなの願いです。

全国的に交通事故発生件数は年々減少しているものの、悲惨な交通事故は依然としてあとを絶ちません。令和4年中に県内では31人、萩市内でも2人が交通事故で亡くなりました。

こうした悲惨な事故をゼロにするには、日頃から市民の皆さん一人ひとりが交通安全意識を持つことが重要です。

このため、萩市では、年4回の交通安全運動期間を中心に、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの徹底を街頭キャンペーン等で広く呼びかけています。引き続き、積極的に啓発活動に取り組み、安全安心なまちづくりに努めてまいります。

また、本年4月1日から自転車に乗るすべての方のヘルメット着用が努力義務となりました。自転車乗車中のヘルメット着用は、自分の命を守るための重要な安全対策であることから、ヘルメットの着用につきましても、広く呼びかけてまいります。

皆さんも、通学や部活動での自転車利用をはじめ、家庭での利用の際も、自転車乗車中は、必ずヘルメットの着用をお願いいたします。皆さんが積極的に着用することにより、市民の皆さんへの啓発にもつながります。

## 理想の萩市

- 33. みんなが楽しく過ごせるところ／萩東中学校生徒
- 34. 交通事故が少なく、幼児から高齢者までが安心して暮らせる町／萩東中学校生徒

## アイデア

- 33. 横断歩道の信号で音が出るようにしてほしい
- 34. 音が鳴る信号機を増やす。

## 萩市からの回答

音の鳴る信号機は「音響式信号機」と呼ばれ、聴覚障がい者の方が横断歩道を渡る際に、歩行者用信号が青色であることを音で知らせて、横断の安全を図るものです。ご提案のとおり、こうした信号機の設置は、誰もが安心して暮らせるまちづくりに必要です。信号機の設置にあたっては基準があり、山口県警察で決定されますが、設置の相談については、お近くの警察署か萩市市民活動推進課にご相談ください。



<b>理想の萩市</b>
35. 自然豊かでみんなが助け合える、ゴミが落ちていない元気な萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
35. 中学生が地域のボランティアをする行事をつくる
<b>萩市からの回答</b>
<p>ボランティアには、地域で開催されるイベントのお手伝いや、清掃活動への参加など、いろいろな形があります。例えば毎年7月に実施される、河川海岸一斉清掃への参加もボランティア活動の一つです。こうした地域行事は、皆さんがお住まいの地域の町内会が行うことが多いことから、まずは、身近な町内会の行事等に積極的にご参加いただくことが、ボランティア活動につながるものと考えます。</p>

<b>理想の萩市</b>
36. ゴミが全然落ちていない空気がとてもおいしいまち／萩光塩学院中学校生徒
<b>アイデア</b>
36. ガス排出やCO2排出などに力を入れる
<b>萩市からの回答</b>
<p>萩市では、温室効果ガス排出削減を図るために、令和5年、省エネ家電買換え補助金を支給し、省エネ性能に優れた家電製品への買換えを支援しました。また、夏場の省エネ対策として緑のカーテン設置を推奨しており、毎年「緑のカーテンコンテスト」を開催し、積極的に取り組まれている個人や団体を表彰しています。</p> <p>温室効果ガス排出削減のためにご自身でもできることを考えて、身近なところから実践していただきますよう、お願いいたします。</p>

<b>理想の萩市</b>
37. ゴミが全然落ちていない空気がとてもおいしいまち／萩光塩学院中学校生徒
38. 友達を遊ぶことができる建物がたくさんあり、ゴミがあまりなくきれいな町／萩東中学校生徒
39. 自然がきれい／萩東中学校生徒
40. 海にゴミが多くポイ捨てが多いので、海にゴミを捨てないということが

できて、きれいな海で、きれいな萩市／萩東中学校生徒

41. 環境が整っていてイベントやライブが良く来る萩市／萩東中学校生徒
42. 道路などにゴミがなく、きれい／萩東中学校生徒
43. ゴミが無い萩市／萩東中学校生徒
44. ゴミが無い萩市／萩東中学校生徒
45. ゴミが少なく、エコな町／萩東中学校生徒
46. ゴミが少なく、エコな町／萩東中学校生徒
47. ポイ捨ての少なく、皆であいさつをして明るくなる町／萩東中学校生徒
48. ゴミが落ちていない、毎日、みんなが良い気持ちで過ごせる萩市／萩東中学校生徒

## アイデア

37. ゴミを捨てたら罰金の看板やお知らせなどをする
38. ごみを減らす
39. ごみを減らす落とさない
40. 自分たちでゴミ袋を持ち歩く
41. ごみを拾って拾った重さだけお金や図書カードがもらえるようにする
42. ゴミは家に持って帰ること
43. ゴミを拾ったらお菓子交換チケットがもらえる
44. ゴミを拾った分だけ食べ物がもらえる
45. エコバック持参
46. 食べ残しをなくす
47. なるべくごみを出さない
48. いつでもゴミが拾えるように必ずゴミ袋（ビニール袋等）を持ち歩く

## 萩市からの回答

ごみを拾ったら何かもらえる制度を創ったらどうだろう、というご提案がありました。現在は、全世界がSDGsに取り組む時代です。SDGsの17目標の中にも「11.住み続けられるまちづくりを」「12.つくる責任 つかう責任」「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさも守ろう」とあります。まちをきれいにすることは私たちの使命であるとの考えのもと、皆さんの自発的な環境美化の取組を促進します。

ごみのポイ捨てをしないことはもちろん、私達一人ひとりがごみの排出量をなるべく減らす努力をすることも大事です。萩市では、市民のみなさんに「ごみは18種類に分別して排出してください」とお願いをしています。分別をすれば資源として再利用することができ、ごみの減量につながります。

ほかにも、平成14年からはレジ袋を減らすことを目的に「マイバッグ持参推進運動」を展開したり、令和3年からは家庭から出る生ごみを減らすため「食べきり、使いきり、水きり、の3きり運動」を提唱するなど、ごみの減量化を呼びかけてきました。ぜひ、みなさんのご家庭でも出来ることから実践され、ごみ排出量を減らしていただきますよう、お願いいたします。

## 理想の萩市

49. 誰もが住みやすい街／萩光塩学院中学校生徒
50. 町にゴミが落ちてないきれいな町／萩東中学校生徒
51. 海にゴミが多くポイ捨てが多いので、海にゴミを捨てないということができて、きれいな海で、きれいな萩市／萩東中学校生徒
52. ゴミがなく自然を大切に守れるような萩市／萩東中学校生徒
53. 不便がなく、清潔でみんなが胸を張って誇れる萩市／萩東中学校生徒
54. どんなどころでもキレイで清潔感があるような萩市／萩東中学校生徒
55. きれいで過ごしやすい便利な萩市／萩東中学校生徒

## アイデア

49. いろいろのところにゴミ箱を置く
50. ゴミ箱を増やしたりする
51. 海の近くにゴミ箱を置く→いつでも借りられるように置いておく
52. ゴミを捨てたくなるようなオリジナルの面白いゴミ箱を各保育園や介護施設などでつくる
53. 公共のゴミ箱を増やす
54. 町中にゴミを捨てられるような所をたくさん作る
55. いろんな場所にゴミ箱を作ってほしい

## 萩市からの回答

公園や海岸にごみ箱を設置したら地域美化につながるのではないかとのご提案がありましたが、心無い人が家庭ごみをそこに持ち込む可能性があり、また放火による火災の原因にもなることから、町中からごみ箱を撤去してきたところです。今後も、自分の出したごみは自宅に持ち帰られるよう、環境美化の意識啓発に努めます。

## 理想の萩市

56. あいさつをしたり、市がきれいに保たれている／萩東中学校生徒
57. あいさつをしたり、市がきれいに保たれている／萩東中学校生徒

## アイデア

56. ちらしなどを配る
57. ポスターを貼る

## 萩市からの回答

萩市では、毎年7月の第1週目を「環境美化週間」に設定し、市内各所にポスター等を掲示するなど、市民のみなさんに環境美化に関心を持っていただく取り組みを行っております。今年度は「河川海岸一斉清掃」50周年を記念し、本事業を次世代に繋いでいくことを目的に、市民のみなさんから広く川柳を募集しました。93点の応募があり、特選に選ばれた方への表彰を行いました。今後も環境美化に関心を持っていただけるよう、啓発活動を展開してまいります。

## 理想の萩市

58. 自然豊かで気持ちよく暮らせる萩市（萩は自然が豊かなのでそれを生かして皆が楽しく気持ちよく暮らせたらいと思う）／大井中学校生徒
59. 町にゴミが落ちてないきれいな町／萩東中学校生徒
60. 自然がきれい／萩東中学校生徒
61. 楽しい町、自然豊かな町、きれいな町、平和な町、空気がおいしい町、大会が強い町／萩東中学校生徒
62. ごみを無くして山口県で一番きれいな街／萩東中学校生徒
63. 道路などにゴミがなく、きれい／萩東中学校生徒
64. 自然豊かで歴史のまちが残っているところ／萩東中学校生徒
65. 自然（海や山）がきれい／萩東中学校生徒
66. 自然／萩東中学校生徒
67. 自然／萩東中学校生徒
68. 他県からきても、この市はよい所だと思えるような萩市／萩東中学校生徒
69. どんなところでもキレイで清潔感があるような萩市／萩東中学校生徒
70. 自然豊かで温かい人たちでいっぱい町／萩東中学校生徒
71. どんな世代でも安心して住める萩市／萩東中学校生徒
72. ゴミが落ちていない、毎日、みんなが良い気持ちで過ごせる萩市／萩東中学校生徒
73. きれいな萩市／萩東中学校生徒

## アイデア

58. 海のゴミを拾う。自然はいいけど、海のゴミなどが気になる。ゴミを拾えば気持ちよく暮らせると思う。みんなで海ゴミを拾うなどのイベントもいいと思う
59. 毎月、地域の人たちで掃除をする
60. 掃除をする
61. 美化活動
62. ごみを見つけたら拾って家に持って帰る
63. ゴミが落ちているのを見つけたら見つけた人が拾う
64. 自然が壊されないようにゴミひろいをする
65. 清掃活動をする ゴミ拾いをする
66. ゴミ拾い
67. 清掃活動
68. 地区それぞれの大掃除を大晦日にする
69. 定期的にゴミを拾うようなイベントを開く
70. ゴミ拾いなどのボランティア活動を積極的に行う
71. ゴミを定期的に拾う
72. 月1回のゴミ清掃をする
73. ゴミを拾う

## 萩市からの回答

萩市では、平成6年に市民有志が地域美化実現のために立ち上がり、「日本一ごみのないまち・萩」「美しいまち・萩」を宣言しました。平成12年度からは「きれいなまち・萩美化推進制度」（通称：おまかせいど）が始まり、多くの個人・団体有志のみなさんにご登録いただき、地域美化活動に取り組んでいただいております。現在、おまかせいどには51団体と112人が登録されております。市では、ボランティア清掃に必要なごみ袋の支給、活動参加者のボランティア保険への加入、ごみの回収などの支援を行っております。

また、半世紀以上の歴史があり毎年1万人以上の市民が参加する「河川海岸一斉清掃」や、毎年6月に大井佐々古海岸で開催される日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃など、イベントも数多く開催してきております。

今後も、こうした清掃活動を展開してまいりますので、積極的にご参加くださいますよう、お願いいたします。

## 理想の萩市

74. もっと栄えたまちにする／萩東中学校生徒

## アイデア

74. 消費税の半分を国が負担する

## 萩市からの回答

萩市をもっと栄えたまちにするため、「消費税の半分を国が負担する」とのご提案ですので、「消費税の半分を国が地方に分配する」という内容でお答えさせていただきます。

現在、消費税は、国に納める消費税と地方に納める地方消費税で構成されています。

皆さんが買い物をするときに負担する消費税10%のうち、国に納める消費税率は7.8%、地方消費税率は2.2%となっています。

国に納める消費税7.8%のうち、1.52%は地方交付税として地方へ配られます。そして、地方消費税2.2%は国が集めた後、各都道府県や各市町村に配られます。つまり、合計すると、現状は消費税の4割弱が地方に配られており、地域振興や地域福祉に使われています。

ご提案のように、消費税の半分が都道府県や市町村に配られるようになれば、萩市もより多くのお金を地域振興に使うことができ、「もっと栄えたまち」の実現に近づけることができるので、とても良いアイデアだと思います。実際に、税や財政の専門家の中にも、ご提案と同様に地方への分配を増やすことが地域活性化に繋がると考えている方もおられます。

一方で、現状の 10%の消費税率のままで、地方への分配を増やすことになると、国がこれまで行っていた社会保障等の施策にお金が使えなくなり、縮小される可能性もありますので、そこをどうしていくかを考える必要があります。このご提案は地域活性化のために意義あるものだと思いますので、これをきっかけに、国や都道府県、市町村、住民が理想とする未来について考え、協力し合うことができれば、地域はより良い方向に発展していくと思います。

消費税や地方消費税率は様々な法律で決まっています。これらの制度を変えるには、「国会」で提案し、国会議員に賛成してもらう必要があります。そこで、18 歳になったら、ぜひ選挙に行ってください、自分の理想とする考えに近い人に投票をすることで、自分の思いを政治に反映させていって欲しいと思います。

さらに、地方消費税を各都道府県に配るときは、「最終消費地の都道府県に配る」というのがルールのひとつにあります。

言葉は少し難しいですが、皆さんが山口県内で買い物をすると、山口県や萩市に配られる地方消費税が多くなるのです！買い物の際は、少し意識してもらえればと思います。

## 理想の萩市

75. お店が沢山あり、子どもたちの遊び場も十分にある／萩東中学校生徒
76. みんなが安心して暮らせる町／萩東中学校生徒
77. 子供が楽しめる町／萩東中学校生徒
78. 遊ぶのに最適な市／萩東中学校生徒
79. 子供から高齢者までが安心して暮らせる萩市／萩東中学校生徒
80. どんな世代でも安心して住めるところ／萩東中学校生徒
81. 子どもから、大人までが、住みやすい萩市で、元気に遊んでいる人がたくさんいる萩市／萩東中学校生徒
82. 皆が楽しく過ごすことのできるまち／萩東中学校生徒

## アイデア

75. 子どもの遊び場を作る
76. 子どもが多いので子供が安心して遊べる場所があるといい
77. 子供が遊べるような所を作る
78. 子供が遊べる施設をつくる
79. 子供向けの施設を増やす
80. 子供が遊べる所を増やす
81. もっと子どもたちが遊べる場所を作ってほしい
82. 今はとても子どもが遊ぶところがないので、遊び場をもっと作った方が良くと思う。あと、プリクラもたくさん作った方が良くと思う

## 萩市からの回答

萩市では、子どもの遊び場と居場所づくりを推進しています。

遊び場づくりとしては、児童公園やプレーパーク、旧明倫小学校体育館をリニューアルした「あそぼ一舎」の活用に取り組み、居場所づくりとしては、公園などの施設の充実や移動児童館事業に取り組むことを計画しています。皆様のご意見も広く伺いながら、安心して遊べる子どもの遊び場・居場所づくりを推進してまいります。

### 理想の萩市

83. もっと人を増やす／萩東中学校生徒

### アイデア

83. 子ども持ちの人に支援する

## 萩市からの回答

萩市では、「子育ての幸せが実感できるまちづくり」を推進しています。

妊娠から子育てまで継続的なサポートを行い、だれもが安心して子どもを産み育てることができる「日本一子育てしやすいまち・萩」の実現に取り組んでいます。

具体的には、子育て世帯をサポートする、子育て世代包括支援センターHAGU（ハグ）の運営、子育て世帯応援誕生祝金・多子世帯応援誕生祝金の支給、学校給食費の無償化などを行い、子育て世帯の不安の解消や経済的負担の軽減に力を入れています。

### 理想の萩市

84. 皆がマスクをはずせる社会（みんなの笑顔が見れない今の現状を解決）  
／萩光塩学院中学校生徒

85. 皆がマスクをはずせる社会（みんなの笑顔が見れない今の現状を解決）  
／萩光塩学院中学校生徒

### アイデア

84. 全国で初のマスク無しの市に！という呼びかけをする

85. コロナ以前の生活に戻れるように、呼びかけポスターを作る

## 萩市からの回答

令和2年度から、世界的規模の感染症対策が講じられた新型コロナウイルス感染症予防の効果的な対策としてマスクの着用が勧められました。

しかし、ワクチンの開発やウイルスの変化等を経て、令和5年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。これにより、現在はマスクを外す場面が多く見られるようになりましたが、感染症が無くなったわけではありません。医療機関への受診時や高齢者施設への訪問、混雑した場所にいる時などは、周囲の方に感染を広めない配慮が必要です。また、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する方、妊婦などは、ご自身を感染から守るために、マスクの着用は効果的です。このため萩市では、基本的な感染対策を行いながら、積極的にイベント等を開催しています。一日でも早く、皆が安心してマスクをはずし、笑顔が見られるようになることを待ち望んでいます。

## 理想の萩市

86. 交通の便利が良く、たくさんの情報が手に入る町／三見中学校生徒

## アイデア

86. スイーツ店を増やす（女性や若者を中心に人口を増やしたい）

## 萩市からの回答

スイーツ店など、若い方に人気の店舗ができると、まちの活性化や若者の定住などが期待されます。萩市では、市内で起業・創業される方に店舗などの建物に係る工事費等の一部を支援しております。引き続き、スイーツ店などを開業される方の起業や創業を支援してまいります。



## 理想の萩市

87. 豊かな自然を生かしながらも、経済が発達している住みやすい萩市、学生の学力状況がよい萩市／萩東中学校生徒
88. 自然豊かで、楽しく学べ、人が来たいと思える町／萩東中学校生徒
89. 毎日賑わう萩市／萩東中学校生徒
90. 人がにぎわい、楽しく魅力あふれる萩市／萩東中学校生徒
91. もっと楽しい町／萩東中学校生徒
92. 若者が多く皆が笑顔な町、萩に大きなお店が欲しい／萩東中学校生徒
93. 自然を大事にしている／萩東中学校生徒
94. お店が沢山あり、子どもたちの遊び場も十分にある／萩東中学校生徒
95. 東京のような町・市にする／萩東中学校生徒
96. 遊園地など遊び場がある楽しい街／萩東中学校生徒
97. 発展している、活気あふれる萩市／萩東中学校生徒
98. 大型ショッピングモールを作ってほしい。何かをお金と交換してほしい。すべての地区にコンビニを発展させてほしい。／萩東中学校生徒
99. 観光客がもっときて、とてもきれいで元気な所／萩東中学校生徒
100. いつも賑やかで楽しい／萩東中学校生徒
101. 子供が楽しめる町／萩東中学校生徒
102. 栄えた街にする／萩東中学校生徒
103. 栄えた街にする／萩東中学校生徒
104. 遊ぶのに最適な市／萩東中学校生徒
105. 綺麗で自然な豊かで、安全で安心して暮らせる萩市／萩東中学校生徒
106. 子どもから大人までが住みやすい萩市。元気に遊んでいる人がたくさんいる萩市／萩東中学校生徒
107. みんなが楽しめるまち／萩東中学校生徒
108. いろんなことが充実している／萩東中学校生徒

## アイデア

87. 大型ショッピングセンターをつかって、生活をもっと便利にする。
88. 大型ショッピングセンターを作る。猫カフェを作る。映えスポットを作る
89. もっと店を増やしてほしい（ショッピングモール、カフェなど）
90. ショッピングモールなど市外の人たちも来るような施設を建てる（観光客が増える）
91. 大型ショッピングモールを建てる
92. デパートを建てる
93. 大型デパートなどを増やす
94. ショッピングモールをつくる
95. 大きいショッピングモールをつくる
96. キャナルシティのような所
97. 大型のショッピングモールを作ってほしい

98. 土地を広げ、下関や防府市のような大型ショッピングモールを作ってほしい。それとテーマパークを作ってほしい。
99. みんなが楽しく買ったり遊んだりできるような大きな施設
100. ゆめタウンなど大きなショッピングモールがあったらいい
101. 大きなショッピングモールをつくる
102. あまり使わない建物などを壊してデパート、遊ぶところなどを作る
103. ビルを建てる
104. ショッピングセンター欲しい
105. 遊べる場所を作る。(大きい建物)
106. デパートや人気の飲食店を増やす
107. 大きいお店をつくる
108. ショッピングモールみたいな大きな店をつくる

### 萩市からの回答

ご提案いただいた、市内に大型商業施設やショッピングモールを誘致する、また新たに開業してもらおうというアイデアは、実現すると、まちの活性化や若者の定住につながる可能性があると考えます。

メリットとしては、市内での買い物や娯楽の選択肢が増え、住みやすさが向上するとともに近郊の発展につながることを考えられます。また、店舗が増えることで、雇用が創出され、地域の経済活動の活性化も期待できます。

一方、デメリットとしては、現在、地域で頑張っておられる地元店舗の衰退や、環境問題の発生なども想定されます。また、萩市で大型商業施設などを開業してもらおうためには、実際に利用者がどの程度見込めるか、売り上げが確保できるかなど、事業者側の検討も必要となります。

萩市でどのような取り組みができるか、その他、ご提案いただいているアイデアも含めて、メリットとデメリットの両面から、総合的に考えてまいります。

### 理想の萩市

109. 誰もが不自由ないと思える街／萩光塩学院中学校生徒
110. 誰もが住みやすい街／萩光塩学院中学校生徒

### アイデア

109. 近くのバス停の前によくゴミが転がっているので、バス停をきれいにしてほしい
110. バス停の近くにベンチをつけてほしい

### 萩市からの回答

バスを利用される方が、気持ちよく、快適にお待ちいただけるよう、停留所の美化やベンチなどの環境整備について、バス事業者とも意見を交換していきます。

## 理想の萩市

- 111. 経済が安定して働いている人を少しでも楽にし、人口を増やし、歴史を大事にする萩市／萩東中学校生徒
- 112. 毎日賑わう萩市／萩東中学校生徒
- 113. 快適に過ごせる／萩東中学校生徒
- 114. みんながいきいきしているようなきれいな市／萩東中学校生徒

## アイデア

- 111. 萩市に来る人をもっと増やし萩市の人口が増えるように道路以外の整備など車以外の交通を増やす
- 112. 新幹線や電車などを通す
- 113. 高齢者で車の免許を返納した人が利用できる交通機関を作って欲しい
- 114. 子供が乗る時は、電車やバスの値段を安くしてほしい

## 萩市からの回答

萩市では、交通機関が発達していないため、公共交通による移動手段の確保が欠かせません。特に中山間地域など、高齢化や過疎化が進む地域では、公共交通は、高齢者などの生活を支える役割も担っています。地域の持続的な発展と住民の生活の質の向上のため、今後も利便性の向上を図っていきます。

## 理想の萩市

- 115. 年齢関係なく誰もが安心して暮らせる市、活気のある市／萩光塩学院中学校生徒

## アイデア

- 115. 高齢者の方々の為にスーパーなどの移動販売

## 萩市からの回答

特に中山間地域で買い物ができる場所がなくなってきています。店舗が撤退した場合においても、引き続き、お住まいの地域で買い物ができるよう、移動販売への支援などどのような形がとれるか検討していきます。

## 理想の萩市

- 116. 皆が楽しく遊べる、生活しやすい萩市（遊べる所が少ないから。人が少ないから人を多くする）／大井中学校生徒

## アイデア

- 116. 働く場所を多く作る。若い人がたくさん働ける場所を作ったら、人が多くなると思うから。

## 萩市からの回答

働く場所や仕事の創出は、地域の雇用を増やしていく上で重要なテーマとなります。例えば、地域の資源や技術を活かした産業を育成することで、新たな雇用が創出され、地域に若い人たちが定住するきっかけとなる可能性もあります。今後も市内で頑張っておられる事業者と一緒に、働く場所や仕事の創出に取り組んでいきます。

### 理想の萩市

117. 人がたくさんいる、活気がある／萩東中学校生徒

### アイデア

117. 自動販売機を増やす

## 萩市からの回答

自動販売機は、店舗などと違い、一定のスペースがあれば設置することができ、24時間いつでも飲物などの商品を購入することができるなどのメリットがあります。設置については、事業者や、土地や建物の所有者の判断となります。市役所や市民館などへの自動販売機の設置については、利用者のニーズなども把握したうえで、検討しています。

### 理想の萩市

118. 自然豊かで気持ちよく暮らせる萩市（萩は自然が豊かなのでそれを生かし皆が楽しく気持ちよく暮らせたら良いと思う）／大井中学校生徒

119. 子供から高齢者までが安心して暮らせる萩市／萩東中学校生徒

### アイデア

118. 高齢者でも楽しめる事を企画する（少子高齢化なので高齢の方でも楽しめる施設や例えばボーリングなど）

119. 高齢者の方のためのサービスを増やす。

## 萩市からの回答

萩市では、高齢者の介護予防や健康増進のため、地域住民の皆様と連携し、高齢者の皆様が集い、交流する場を提供しています。また、老人クラブや町内会等においても、グラウンドゴルフ大会や活動発表会など、様々な行事を企画されています。引き続き、地域の皆様と連携し、高齢者の皆様に住み慣れた地域で、生き生きと暮らし続けることができるよう取り組んでまいります。

## 理想の萩市

120. 誰もが不自由ないと思える街／萩光塩学院中学校生徒
121. 人がたくさん集まる場所／見島中学校生徒
122. 楽しい萩市、活性化／萩東中学校生徒
123. 観光客がたくさんでもっといろいろなお店がある萩市／萩東中学校生徒
124. 楽しい萩／萩東中学校生徒
125. 楽しい萩市（人が集まる）／萩東中学校生徒
126. 楽しい町／萩東中学校生徒
127. イベントがもり沢山の萩市／萩東中学校生徒
128. 大型ショッピングモールを作ってほしい。何かをお金と交換してほしい。すべての地区にコンビニを発展させてほしい／萩東中学校生徒
129. 観光地が多くにぎやかな所／萩東中学校生徒
130. 皆が楽しく過ごすことのできるまち／萩東中学校生徒

## アイデア

120. あるところにはあるけど、かたまってコンビニがあって、ないところにはないので、コンビニを増やしてほしい。
121. 全国的に人気な建物を作る。(例) スターバックス
122. コストコ、プリクラ、ファミリーマート、スターバックス、ドン・キホーテが欲しい
123. 空き家などをなくし、プリクラの機会が欲しいので、もっとお買い物ができるところを作る。コストコも欲しい。ヒマラヤも欲しい
124. ドン・キホーテをつくる
125. コストコをつくる
126. ファミリーマートが一つもないので作ってほしい
127. ファミリーマートを建てる
128. 萩市のすべての地区にコンビニを作り、かせいだお金で萩市を経済発展させてほしい
129. スタバを作る
130. サーティーワンなどの人気のあるお店がないので、サーティーワンかミスドかスタバを作った方が良かったと思います。

## 萩市からの回答

ご提案いただいた、市内に若い方にも人気の全国チェーンの店舗を誘致する、また新たに店舗を開業してもらおうというアイデアは、実現すると、まちの活性化や若者の定住につながる可能性があると考えます。

メリットとしては、市内での買い物や娯楽の選択肢が増え、住みやすさが向上するとともに近郊の発展につながる考えられます。また、店舗が増えることで、雇用が創出され、地域の経済活動の活性化も期待できます。

一方、デメリットとしては、現在、地域で頑張っておられる地元店舗の衰退や、環境問題の発生なども想定されます。

また、萩市でチェーン店などを開業してもらうためには、実際に利用者が

どの程度見込めるか、売り上げが確保できるかなど、事業者側の検討も必要となります。

萩市でどのような取り組みができるか、その他、ご提案いただいているアイデアも含めて、メリットとデメリットの両面から、総合的に考えてまいります。

## 理想の萩市

131. にぎやかな萩市／萩光塩学院中学校生徒
132. 友達を遊ぶことができる建物がたくさんあり、ゴミがあまりなくきれいな町／萩東中学校生徒
133. みどりがありながらもいろいろ栄えていて、人と人とが支えあえる感じ／萩東中学校生徒
134. 皆がニコニコしていて楽しく遊べる所が沢山ある萩市／萩東中学校生徒
135. 明るくて元気の良い萩市／萩東中学校生徒
136. 人がにぎわい、楽しく魅力あふれる萩市／萩東中学校生徒
137. 楽しい萩／萩東中学校生徒
138. 楽しい萩市（人が集まる）／萩東中学校生徒
139. 特になし（アイデアのみ応募）
140. 楽しい町／萩東中学校生徒
141. 元気でルールが守れる萩市／萩東中学校生徒
142. イベントがもり沢山の萩市／萩東中学校生徒
143. たのしいと思える萩市／萩東中学校生徒
144. 楽しい町／萩東中学校生徒
145. 観光客がもっときて、とてもきれいで元気な所／萩東中学校生徒
146. 楽しい萩市／萩東中学校生徒
147. 楽しい萩市／萩東中学校生徒
148. ゆずれる人が多い市 楽しい市／萩東中学校生徒
149. 平和な町／萩東中学校生徒
150. 平等・公平／萩東中学校生徒
151. きれい すごしやすい べんり／萩東中学校生徒
152. 子供が遊べるところが充実し、誰でも休憩できるスペースがあり、事故が少ない市／萩東中学校生徒
153. 子供がもっと楽しめるような街／萩東中学校生徒
154. 子供がもっと楽しめるような街／萩東中学校生徒
155. 元気に遊んでいる人がたくさんいる萩市／萩東中学校生徒
156. みんなが楽しめるまち／萩東中学校生徒
157. 子供から大人まで皆が楽しめる遊びスポットが沢山ある／萩東中学校生徒
158. きれいな萩市／萩東中学校生徒
159. 遊ぶ所を増やす／萩東中学校生徒

## アイデア

131. 遊ぶところを増やしてほしい
132. 建物を増やす
133. 施設を増やす
134. 小・中学生や、年齢に関係なく遊べるところが欲しい
135. 猫カフェ、ファミリーマートを配置
136. 観光地の近くに、飲食店や遊べる施設を建てる
137. ROUND1 をつくる
138. ROUND1 をつくる
139. ROUND1 をつくる
140. 遊べる場所をつくってほしい
141. 店をたくさん建てる
142. もっと店を増やす
143. 遊び場を増やす
144. 遊び施設を増やす
145. ラウンドワンをつくる
146. 飲食店をふやす
147. 遊べる場所をふやす
148. 何かできる施設を増やしてほしい
149. 遊ぶ場所をふやす
150. みんなが遊べる施設を作ってほしい
151. ベンチやお菓子販売機などを作ってほしい
152. 新しく建物を建てるか、店の一部を改造してゲームセンターを作る（カフェなども）
153. 公園やゲームセンターを増やす
154. 駄菓子屋や飲食店を増やす
155. 服屋さんやゆっくりできるお店、映画館などを増やしてほしい
156. 遊ぶところを増やす
157. 遊んだ時に形に残るようにプリクラをたくさん置いてほしい
158. 遊ぶところを増やす
159. 新しい遊べるところを作る

## 萩市からの回答

ご提案いただいた、市内に若い方が買い物やレジャーで楽しめる施設を誘致する、また新たに店舗を開業してもらおうというアイデアは、実現すると、まちの活性化や若者の定住につながる可能性があると考えます。

メリットとしては、市内での買い物や娯楽の選択肢が増え、住みやすさが向上するとともに近郊の発展につながる考えられます。また、店舗が増えることで、雇用が創出され、地域の経済活動の活性化も期待できます。

一方、デメリットとしては、現在、地域で頑張っておられる地元店舗の衰退や、環境問題の発生なども想定されます。

また、萩市でレジャー施設などを開業してもらうためには、実際に利用者がどの程度見込めるか、売り上げが確保できるかなど、事業者側の検討も必要となります。

萩市でどのような取り組みができるか、その他、ご提案いただいているアイデアも含めて、メリットとデメリットの両面から、総合的に考えてまいります。

## 理想の萩市

160. 特になし（アイデアのみ応募）
161. 有名な観光スポットランキングなどで上位にいる萩市／萩東中学校生徒
162. もっと人を増やす／萩東中学校生徒
163. 京都くらい栄える市にする／萩東中学校生徒
164. 京都くらい栄える市にする／萩東中学校生徒
165. 観光客がたくさんでもっといろいろなお店がある萩市／萩東中学校生徒
166. 環境が整っていてイベントやライブが良く来る萩市／萩東中学校生徒
167. 人がいっぱいいる萩市／萩東中学校生徒
168. 観光客がいっぱい来てビルが建っている／萩東中学校生徒
169. 自然（海や山）がきれい／萩東中学校生徒
170. 観光する人がいっぱい来る萩市 山口県は都道府県ランキング下位なので観光スポットを増やしたい／萩東中学校生徒
171. 観光する人がいっぱい来る萩市 山口県は都道府県ランキング下位なので観光スポットを増やしたい／萩東中学校生徒

## アイデア

160. YouTubeなどのネットで萩市の良さを投稿する（萩市の人口が増えるといい）
161. 観光スポットの良いところを知ってもらう
162. ネットに萩の魅力などを載せる
163. 観光地に田町の割引券などを置いて観光地に来てもらう
164. 期間中にツイッターなどに「#萩市～」と付けて投稿した人に抽選で景品が当たるようにする
165. ポスターを作ったり、萩市みんなで世界遺産などを大切に、みんなが来たくするようにする
166. もっと萩の歴史やそのほかを宣伝する、ポスターやテレビなど
167. 観光地として萩市をアピールする
168. 有名なユーチューバーを呼んで動画にってもらう
169. ポスターや動画を作る
170. テレビで流す
171. 大きく宣伝する



## 萩市からの回答

萩市をPRするためには、様々な方法があります。SNSの利用者数は全体の約80%となっており、近年は非常に波及効果の高いPR方法となっています。このため、ご意見の中にもありますが、YouTube や X (旧ツイッター) などを活用するとともに、テレビやラジオ、ポスターなど、不特定多数の人にも効果のあるPRを行ってまいります。

### 理想の萩市

172. 他の都道府県からきても、この市はよい所だと思うような所／萩東中学校生徒

### アイデア

172. 高校生が観光客の案内人になる

## 萩市からの回答

萩市を良い所と思っていただくために、高校生が案内役となることは非常に有効な手段です。さらには、高校生だけでなく、萩市民全員がおもてなしの心を持って、観光客に接していくことが重要だと考えます。今後もおもてなしの充実を図り、萩ファンを増やす取組を進めてまいります。

### 理想の萩市

- 173. 人が多く賑やかな萩市（人が多く賑やかな方が凄く楽しいと思うし、皆の笑顔が増えるから）／大井中学校生徒
- 174. 人が多く賑やかな萩市（人が多く賑やかな方が凄く楽しいと思うし、皆の笑顔が増えるから）／大井中学校生徒
- 175. 皆が楽しく遊べる、生活しやすい萩市（遊べる所が少ないから。人が少ないから人を多くする）／大井中学校生徒
- 176. 観光客が多く、帰るときにはもう一度来たいと思われるような町。笑顔があふれ、挨拶が飛び交う町／萩東中学校生徒
- 177. みんながニコニコしていて楽しく遊べるところがたくさんある萩市／萩東中学校生徒
- 178. 暮らしやすく文化が素晴らしい／萩東中学校生徒
- 179. いろいろな人が訪れるような市（都会）／萩東中学校生徒
- 180. いろいろな人が訪れるような市（都会）／萩東中学校生徒
- 181. 自然を大事にしている／萩東中学校生徒
- 182. 一人一人が萩市の歴史や自然を大切にでき、いろんな人が行ってみたいと思えるようなところ／萩東中学校生徒

- 183. 一人一人が萩市の歴史や自然を大切にでき、いろんな人が行ってみたいと思えるようなところ／萩東中学校生徒
- 184. 遊園地など遊び場がある楽しい街／萩東中学校生徒
- 185. 観光客がいっぱい来てビルが建っている／萩東中学校生徒
- 186. 観光客をもっと増やす／萩東中学校生徒
- 187. 有名な場所／萩東中学校生徒
- 188. もっと栄えたまちにする／萩東中学校生徒
- 189. 萩市の人口を少しでも増やす／萩東中学校生徒
- 190. 遊ぶ所を増やす／萩東中学校生徒

## アイデア

- 173. 色々な観光客が来るような有名な遊園地を作ってほしい（有名な遊園地があると色々な人が楽しく遊べるから）
- 174. 動物園を作る（動物園は子供から大人まで楽しめる場所なので嬉しいですと思ったから）
- 175. 遊園地や皆が楽しく遊べる所を作る（萩市には遊園地がなく、遊園地があるだけでも楽しくなると思うから）
- 176. 観光客が喜ぶような施設を設ける
- 177. 水族館をつくってほしい
- 178. 遊園地をつくってほしい
- 179. 萩市の良さを知ってもらえるようなテーマパーク的な場所をつくる
- 180. 有名になるような観光スポットをつくる
- 181. 遊園地などを遊べるところを増やす
- 182. 観光スポットを増やす
- 183. 公園だけでなく、中学生が高校生などでも楽しめる場所またはイベントを増やす
- 184. 遊園地をつくる
- 185. 遊べる遊園地をつくる
- 186. 萩の観光地のお店を作る（リュックやバッチなど）
- 187. 子供が遊べる施設・パーク・ゲームセンター・遊園地を建てる
- 188. いらぬ建物などを壊して、デパートや遊園地などをつくる
- 189. 観光場所を増やす
- 190. 遊園地を建てたりする

## 萩市からの回答

新たな娯楽施設や観光地をつくるためには、民間事業者の斬新な発想や活力が必要であり、何より、整備するための資金が必要になってきます。行政の立場でどういった取組ができるか、民間事業者と協力してどういったことができるか、様々な視点から観光振興につながる手法を研究してまいります。

<b>理想の萩市</b>
191. 観光客をもっと増やす／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
191. 萩専用キャラをつくる
<b>萩市からの回答</b>
萩市では「萩にゃん」というゆるキャラが活躍しています。今後も全国的な知名度アップに向け、PRしていきます。

<b>理想の萩市</b>
192. 植物（特に夏みかん）に恵まれ、伝統的な衣食住がたくさんある観光客にも好まれるような萩！／萩光塩学院中学校生徒
<b>アイデア</b>
192. 夏みかんなどの植物を増やす
<b>萩市からの回答</b>
萩市では、緑化の推進を図るため、夏みかんや花木の植栽による修景を行った方に対し、経費を支援しています。引き続き、市民の皆様に積極的に夏みかん等の花木の植栽に取り組んでいただけるよう、支援を行ってまいります。また、公共施設の植栽におきましても、萩らしい景観を保つことができるよう努めてまいります。

<b>理想の萩市</b>
193. ゴミがなく自然を大切に守れるような萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
193. 公園やいろんな施設に花壇を作って花などをたくさん植える
<b>萩市からの回答</b>
萩市の一部の公園や公共施設では、既に花壇が設置され、花等が植栽されています。今後も皆さんの意見を参考にしながら、公園等における花壇の設置を検討していきます。

<b>理想の萩市</b>
194. 平和（何事もない）／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
194. 山道（登山道）を整備する
<b>萩市からの回答</b>
<p>コロナ禍の影響からアウトドアレジャーへの関心が高まり、登山や街道ウォークを楽しまれる方が増えています。</p> <p>萩市には萩往還や中国自然歩道などがありますので、まずは、これらの道を有効に活用できるよう努めてまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
195. 自然豊かで歴史のまちが残っているところ／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
195. 歴史ある町を守る
<b>萩市からの回答</b>
<p>伝統的な町並みを後世に継承するため、今後も、伝統的建造物群保存地区や萩城下町の保存修理と活用に取り組んでまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
196. 市民が楽しく笑える街／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
196. 萩往還の途中にもっと休憩場所が欲しい
<b>萩市からの回答</b>
<p>現在、萩往還の途中に 4 カ所の休憩所トイレを整備しています。そのほかにも、休憩所等が必要であるか、現地を確認して考えてみたいと思います。</p>

<b>理想の萩市</b>
197. 経済が安定して働いている人を少しでも楽にし、人口を増やし、歴史を大事にする萩市／萩東中学校生徒
198. 有名な観光スポットランキングなどで上位にいる萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
197. 歴史をもっとわかりやすいようにする
198. 萩市の歴史をちゃんと大切にする
<b>萩市からの回答</b>
<p>萩博物館では、展示などにより萩の歴史をわかりやすく紹介しています。</p> <p>また、明治維新150年記念事業など節目の年にはイベントを開催し、歴史を顕彰する取組も行っているところです。</p> <p>市民の皆さんや観光客に、より解りやすく萩の歴史を伝える工夫をしていますが、こうしたイベントにも、ぜひご参加ください。</p>

<b>理想の萩市</b>
199. 若い人たちもお年寄りの人たちも幸せに暮らしている／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
199. ガードレールがないところが多いのもう少し追加する
<b>萩市からの回答</b>
<p>ガードレールは車が車道から逸脱しないように、運転者や歩行者などを守るためものです。設置を行う場合は、防護柵の設置基準に基づき、必要箇所に設置を行います。車や歩行者の通行状況や現場の条件などにより、どこにでも設置できる訳ではありませんが、ご要望箇所がありましたら、まずは土木課へご相談ください。</p>

<b>理想の萩市</b>
200. 事故のない萩市／萩東中学校生徒
201. 子供が遊べるところが充実し、誰でも休憩できるスペースがあり、事故が少ない市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
200. 十字路やT字路にカーブミラーをもっと設置する
201. 信号や横断歩道の時間の差をなくし、カーブミラーをたくさん作る。
<b>萩市からの回答</b>
<p>カーブミラーの設置につきましては、市民の皆様から多くの要望をいただいております。その都度、現場状況や必要性を確認した上で設置の可否を検討しています。また、信号や横断歩道は警察が管理されています。ご要望箇所がありましたら、まずは土木課へご相談ください。</p>

## 理想の萩市

- 202. 目の届かないところも道がきれい！山方面でも蛍光灯があるまち／萩光塩学院中学校生徒
- 203. 夜でも安全な場所／萩光塩学院中学校生徒
- 204. 子どもが減らないいろいろな世代がいる萩市／萩光塩学院中学校生徒
- 205. 子供がどんなところも安全に歩ける萩市／萩光塩学院中学校生徒
- 206. 事故がない／萩東中学校生徒
- 207. みんなが楽しく過ごせるところ／萩東中学校生徒
- 208. 快適に過ごせる／萩東中学校生徒

## アイデア

- 202. 小さい蛍光灯を置く（人が来たら光る）
- 203. 街灯を多くしてほしい
- 204. 暗い、細い道も明るく通りやすくしてほしい
- 205. 細い道に電灯（街灯）をつける
- 206. 夜は暗くて危ないので、ライトとか明るいものをまわりに増やす
- 207. 暗い所に街灯をつける
- 208. 街灯を多くする

## 萩市からの回答

夜間の照明につきましては、道路交通の安全や円滑化を図るための「道路照明」や、公共用地や共有地などを照らす「街灯」、防犯等を目的に、各地区の暗い場所に設置する「防犯外灯」などがあります。

「道路照明」につきましては、道路照明施設設置基準に基づいて国道、県道、市道に設置される照明であり、交差点や横断歩道、夜間の交通上特に危険な箇所には設置されるもので、設置される場所は限定されます。

「街灯」につきましては、萩市では昭和45年から、観光振興や交通安全など、明るい街づくりを行うため、市内の関係機関とともに、萩市照明都市計画委員会を組織し、スポンサーを募り、萩地域の街路や商店街路などに、約290本、LED街灯を設置しております。新設等は基本的に行っておりませんが、現在ある都市照明については適切に管理してまいります。

「防犯外灯」につきましては、町内会等が設置され、維持管理も行っているだけであります。萩市ではこうした町内会等が設置する防犯外灯の新設や、既存の外灯の改善等に要する経費を補助しておりますので、ご要望がございましたら市民活動推進課へご相談ください。

## 理想の萩市

- 209. 目の届かないところも道がきれい！山方面でも蛍光灯があるまち／萩光塩学院中学校生徒
- 210. 夜でも安全な場所／萩光塩学院中学校生徒

- 211. みんなが心安らかに暮らせるまち／萩光塩学院中学校生徒
- 212. 空き家をなくすよう城下町が発展する／萩東中学校生徒
- 213. 事故のない萩市／萩東中学校生徒
- 214. 若い人たちもお年寄りの人たちも幸せに暮らしている／萩東中学校生徒
- 215. 色んな年の人がいて観光客がたくさん来る市／萩東中学校生徒
- 216. 自然の中に囲まれている安全安心な市です。／萩東中学校生徒
- 217. 交通事故が少なく、幼児から高齢者までが安心して暮らせる町／萩東中学校生徒

## アイデア

- 209. 地面が割れている所を直す
- 210. 歩道を大きくしてほしい
- 211. でこぼこしている道を舗装してほしい
- 212. 歩道を広くしてほしい
- 213. 地下道の階段を緩やかにする
- 214. 通路をもう少し通りやすくする
- 215. 通学路で使う道などを広くし自転車なども走りやすくするようにする
- 216. もっと道路を増やしてほしい
- 217. 通学路にせまい道があるので、少し幅を広げる

## 萩市からの回答

萩市内には、国道、県道、市道など多くの道路があり、各管理者によって道路を維持管理しています。その中で、市道の改良や維持管理は萩市の土木課で行っております。市道は萩市内で約 1,000km 以上あり、適切に維持管理を行っていくことの難しさを感じているところです。

しかしながら、市民の皆様が安全に安心して道路を利用していただくためにも、適切な道路の維持管理は必要不可欠です。維持管理につきましては、職員のパトロールや市民の方からの通報により道路の不具合箇所を発見し、現地を確認した後に、必要な対応を行っています。道路についてお気づきの点等ありましたら、まずは土木課へご相談ください。

また道路の拡幅や地下道の階段につきましては、現場状況や利用状況を確認したうえで、必要性も含めて検討が必要であると考えています。ご要望箇所がありましたら、まずは土木課へご相談ください。今後も道路の適切な維持管理に努めてまいります。

## 理想の萩市

- 218. 子供がどんなところも安全に歩ける萩市／萩光塩学院中学校生徒

## アイデア

- 218. 橋をきれいにする

## 萩市からの回答

萩市は景観に配慮したまちづくりを進めており、道路を通行するときに見える橋などもきれいに維持管理をしておく必要があると考えています。土木課では、管理しているすべての橋について、計画的に点検を行い、必要な補修工事を行っておりますので、工事完了後にはきれいな橋になっていると思います。個別にお気付きの橋がありましたら土木課へご連絡ください。

### 理想の萩市

219. 人が安全に過ごせる町／萩光塩学院中学校生徒

### アイデア

219. 十字路やT字路のブロックの壁を柵にしてほしい

## 萩市からの回答

十字路や T 字路のブロックは個人で設置されているものが多く、萩市が撤去して柵を設置することは難しい状況です。見通しが悪く、道路を通行することが危険であれば、カーブミラーを設置したり、停止線を引くなどの検討することが出来ますので、土木課へご相談ください。

### 理想の萩市

220. 有名な場所／萩東中学校生徒

221. きれいで、自然な豊かで、安全で安心して暮らせる場所／萩東中学校生徒

### アイデア

220. 必要ない家は取り壊す

221. 空き家を減らす

## 萩市からの回答

萩市では、平成 29 年 3 月に「萩市空家等対策計画」を策定し、空き家問題に取り組んでおります。この計画に基づき、管理が不適切な空き家に対しては、所有者へ適切な管理をするためのアドバイスを行っております。また、管理や修繕が不可能な空き家に関しては、解体等を検討いただいております。

今後も、空き家を有効活用するため、移住者にご紹介する空き家情報バンク制度などにより、できるだけ多くの空き家を活用していただくよう努めてまいります。



<b>理想の萩市</b>
222. ごみを無くして山口県で一番きれいな街／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
222. 空き地を畑や新しい家などに再利用する
<b>萩市からの回答</b>
<p>空き地や空き家といった有効に利用されていない土地が近年増加しており、その適切な管理や利活用が課題となっています。空き家については、地域内にある空き家情報を萩市 HP で提供し、利用活用を図っています。市街地の空き地・空き家は、都市機能を維持していくための利活用を促進し、にぎわいの創出や生活の質と利便性の向上を図るよう努めてまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
223. にぎやかな萩市／萩光塩学院中学校生徒
224. 子どもが減らないいろいろな世代がいる萩市／萩光塩学院中学校生徒
225. 人がたくさんいる、活気がある／萩東中学校生徒
226. みんなが安心して暮らせる町／萩東中学校生徒
227. ゆずれる人が多い市 楽しい市／萩東中学校生徒
228. 老若男女問わずみんなが楽しくすごせる萩／萩東中学校生徒
229. 老若男女問わずみんなが楽しくすごせる萩／萩東中学校生徒
230. 自然の中に囲まれている安全安心な市／萩東中学校生徒
231. いろいろなことが充実している／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
223. 休憩場所がほしい
224. 新しい公園を増やしてほしい
225. 公園を増やす
226. 少し休憩ができるところがほしい
227. 自然を感じられる施設を作ってほしい
228. 公園を増やしてほしい
229. 公園を増やしてほしい
230. 家の近くにベンチがほしい
231. あいている土地に公園をつくる
<b>萩市からの回答</b>
<p>公園の整備については、「萩市都市計画マスタープラン」と「萩市緑の基本計画」に取組方針を定め、シンボルとなる公園づくりやバランスの良い身近な公園の整備・充実に取り組んでいます。公園を整備するためには多くの事業費が必要となりますので、早期の実現は難しいものですが、市民のニーズをふまえながら公園の再配置や新設整備を推進するとともに、空き地を活用したポケットパークや緑地化の促進を図ってまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
232. みんなが心安らかに暮らせるまち／萩光塩学院中学校生徒 233. 元気に遊んでいる人がたくさんいる萩市／萩東中学校生徒 234. 子どもから大人まで皆が楽しめる遊びスポットがたくさんある／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
232. 小さい子でも安心して遊べる遊具を作ってほしい 233. 遊べる場所や遊具を増やす 234. 体を動かせるような巨大屋内アスレチックを建ててほしい
<b>萩市からの回答</b>
<p>事故や老朽化等による安全性の理由から遊具の撤去が進み、公園に設置してある遊具の種類や数は少なくなってきました。近年は、年齢・性別・障がいの有無を気にすることなく遊ぶことができるインクルーシブ遊具が多く作られるようになっていきます。遊具の設置については、これらの新しい遊具やニーズ、施設の維持管理のことも考えながら検討してまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
235. 発展している、活気あふれる萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
235. 若者のためにスマホなどで選挙に投票できるようにしてほしい
<b>萩市からの回答</b>
<p>選挙において、スマホなどを使ったインターネット投票を可能にすることで投票に対するハードルが下がり、若者の政治参加が高まることが期待されます。しかし、現在の法律では、選挙人は選挙の当日に自ら投票所に行って投票することが原則とされており、インターネット投票は認められていません。インターネット投票は、本人以外の成り済まし投票や第三者による投票干渉など、選挙の公正さや信頼性を十分に確保できないという懸念があるためです。</p> <p>しかし、選挙は有権者のためのものであり、投票しやすい環境づくりは重要です。このため、萩市では短時間投票を行う移動期日前投票所や巡回式期日前投票所の設置に取り組んでおりますが、今後、高等学校や大学などの教育機関における短時間投票の実施など、引き続き、全ての人が投票しやすい環境づくりに努めてまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
236. 暮らしやすく文化が素晴らしい市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
236. 中高生を対象とした建物や施設を増やしてほしい
<b>萩市からの回答</b>
<p>萩市には、中高生に人気のあるテーマパークや大型ショッピングモールなどはございません。</p> <p>一方でコロナ禍を経て、こうした大型集客施設から、アウトドア志向の方が増え、豊かな自然に恵まれた萩市の良さが見直されています。都心部の方からすれば、皆さんが身近にできるバーベキューや釣り、農作業などがとてもうらやましいかもしれません。</p> <p>令和3年度に政府が行った社会生活基本調査では、趣味・娯楽として「遊園地、動植物園、水族館などの見物」は大幅に低下し、「スマホ・ゲーム機などによるゲーム」、「CD・スマホなどによる音楽鑑賞」が上昇しています。</p> <p>どこにいてもできるデジタルも良いですが、豊かな自然に恵まれた萩市ならではの趣味や娯楽をぜひ、見つけてみてください。</p>

<b>理想の萩市</b>
237. 豊かな自然を生かしながらも、経済が発達している住みやすい萩市。学生の学力状況がよい萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
237. 無料で誰でも入りやすい学生だけの個別学習スペースをつくる
<b>萩市からの回答</b>
<p>個別学習スペースではありませんが、萩図書館の2階に Wi-Fi 完備の学習室、1階には衝立で仕切られた学習コーナーがありますので、ぜひご利用ください。</p> <p>このほか、萩・明倫学舎の4号館には、電源や高速 Wi-Fi 完備のコワーキングスペースがあり、有料となりますが、学生の方は1時間100円、月額会員は月1,500円で何度でも利用することができます。</p> <p>また、萩市内の高校に通学している方は、「萩探究部」という活動に参加することができます。慶応大学の学生などと対話や議論をしながら自分がワクワクできるテーマを深めていく学習プログラムですので、こちらもぜひ、ご検討ください。</p>

<b>理想の萩市</b>
238. 将来の可能性や選択肢を増やせるような萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
238. 小中学生参加の職場体験
<b>萩市からの回答</b>
小学校では職場見学、中学校では職場体験を各校で実施しています。見学や体験を通して働くことの意義や大切さを学んでほしいと思います。

<b>理想の萩市</b>
239. 交通の便利が良い町で、たくさんの情報が手に入る町／三見中学校生徒
<b>アイデア</b>
239. パティシエ養成学校をつくる
<b>萩市からの回答</b>
<p>パティシエ（洋菓子職人）は、人気職業でもあり、写真映えもすることから観光のまちとしては、大事な職業の一つと考えております。</p> <p>しかしながら、専門学校の設置や誘致は、相当の時間と費用がかかること、人口減少のため学生確保が厳しく、学校経営が困難となることが予想されます。山口県内には、小郡に調理製菓専門学校がありますが、奨学金を利用して、こうした専門学校で学び、卒業後に萩市に定住される方には、奨学金返還の半分以上を補助する制度を始めていますので、ぜひ、夢を持って勉強に取り組んでください。</p>

<b>理想の萩市</b>
240. 人が安全に過ごせる町／萩光塩学院中学校生徒
<b>アイデア</b>
240. 心がつらい時に保健室などで休めるようにする
<b>萩市からの回答</b>
どうしても心が辛く、苦しいときには、自分で解決しようとするのではなく、周囲の人を頼ったり、相談したりすることが大切です。保健室もその選択肢の一つだと思います。

<b>理想の萩市</b>
241. 犯罪のない、明るい町／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
241. 登下校時警察の見回り
<b>萩市からの回答</b>
生徒のみなさんの安全・安心を守ることはとても大切です。今後も地域ボランティアの方や警察の方と協力しながら、みなさんの登下校を見守ります。

<b>理想の萩市</b>
242. いつも賑やかで楽しい／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
242. 英検を無料化
<b>萩市からの回答</b>
萩市では、中学校3年間で1度だけですが、英語の検定料を全額補助していますので、ぜひ、英検にチャレンジしてみてください。

<b>理想の萩市</b>
243. みんながいきいきしているきれいな市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
243. 学校でゴミ拾いする活動をする
<b>萩市からの回答</b>
地域に出かけ、ボランティア清掃をしている学校は多くあります。地域のために自分たちの力で何ができるのかをみんなで考えてみてください。生徒のみなさんの活動する姿が、きっと地域の方に元気を与えることと思います。

<b>理想の萩市</b>
244. 空き家をなくすよう城下町が発展する／萩東中学校生徒 245. 特になし（アイデアのみ応募）／萩東中学校生徒 246. 誰もが楽しめるまち／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
244. ゴールのある自由にサッカーできる場所 245. バスケットコートを増やす 246. バスケットゴールなどの運動ができる場所を増やす
<b>萩市からの回答</b>
<p>市民の誰もが生涯を通じてスポーツに親しんでいただくことを目指して、スポーツを楽しめる環境の充実を進めているところです。サッカーやバスケットボールは、生徒のみなさんにとって非常に人気のあるスポーツです。現在、学校施設については、サッカーゴールやバスケットゴールが常時設置してあるところもありますが、社会体育施設においては、他競技の使用もあることから常時設置をしていません。このようなことから、気軽に行える場所が少ないですが、生徒のみなさんのニーズを把握し、関係者とも協議を行いながら考えていきたいと思っております。</p>

<b>理想の萩市</b>
247. 明るくて元気の良い萩市／萩東中学校生徒 248. 東京のような町・市にする／萩東中学校生徒 249. 観光地が多くにぎやかな所／萩東中学校生徒 250. 市民が楽しく笑える街／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
247. プールを配置 248. ドームをつくる 249. とっても大きなスポーツ広場を作る 250. 新しくサッカーできる場所を作ってほしい
<b>萩市からの回答</b>
<p>スポーツ施設を新たに整備するためには多くの費用が必要となります。また、整備場所の検討や地元の方との調整など、早期の実現は難しい状況です。現在、萩ウェルネスパークをはじめ、各地域に体育館やグラウンド等の施設があります。生徒のみなさんに安心して使用していただけるよう、引き続き、環境整備に努めてまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
251. 自然豊かで楽しく学べる、人が来たいと思える町／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
251. 勉強ができたり、本が読めたりできるスペースを作る
<b>萩市からの回答</b>
萩図書館には学習スペースがあり、毎日多くの学生が利用しています。また、児童館や萩・明倫学舎内の wake②base も利用できます。各地域では、図書館や公民館等に図書コーナーや学習スペースがありますので、ぜひご利用ください。

<b>理想の萩市</b>
252. みんな楽しく協力しあえる町／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
252. みんなに図書カードを配布（毎週）
<b>萩市からの回答</b>
萩図書館では、約 25 万冊の本を無料で借りることができます。また、萩図書館の電子図書であれば自宅のパソコン等でも無料で借りることができます。ぜひ図書館を利用してみてください。

<b>理想の萩市</b>
253. 将来の可能性や選択肢を増やせるような萩市／萩東中学校生徒
254. 特になし（アイデアのみ応募）／萩東中学校生徒
255. 楽しい町、自然豊かな町、きれいな町、平和な町、空気がおいしい町、大会が強い町／萩東中学校生徒
256. 助け合える萩市／萩東中学校生徒
257. 楽しい萩市、活性化／萩東中学校生徒
258. 元気でルールが守れる萩市／萩東中学校生徒
259. たのしい町／萩東中学校生徒
260. 市民たちが誇れる市／萩東中学校生徒
261. 若者が多く皆が笑顔な町、萩に大きなお店が欲しい／萩東中学校生徒
262. みんな楽しく協力しあえる町／萩東中学校生徒
263. イベントが盛りだくさんの萩市／萩東中学校生徒
264. イベントが盛りだくさんの萩市／萩東中学校生徒
265. 良い町／萩東中学校生徒

## アイデア

- 253. 中央公園や図書館などでのイベントを増やす（萩市の活性化）
- 254. 1年に1回大規模な祭りを開催してくれると嬉しい
- 255. 祭り・大会などのイベント
- 256. イベントなどをもっと増やす
- 257. イベントを増やす
- 258. たくさんイベントをする
- 259. イベントをひらく
- 260. イベントを増やす
- 261. イベントを多くして市外、県外から人を集める
- 262. いろんなイベントを開く
- 263. マリオカート8DXの大会をやる！
- 264. 魚釣りの大会をやる！
- 265. もっといろんな人に萩のいい所を知ってもらうイベントをする

## 萩市からの回答

萩市では、地域経済の活性化、地域資源のPR、観光振興などを目的に、歴史や伝統文化、自然、特産品等をいかした様々なイベントを開催し、多くの市民の皆様楽しんでいただくとともに、市外からも多くの方にお越しいただいております。また、市が主催するもの以外にも、ホテルを楽しむイベントなど住民の皆様が主体となって開催されるイベントもあります。こうした活発な住民活動は、賑わいの創出や交流促進などの効果に加え、萩市の元気創出につながると考えています。

萩市も、引き続き、それぞれの目的に応じたイベントの開催を検討してまいります。ぜひ皆様も、イベントを企画し、実際にチャレンジしていただければと考えております。

## 理想の萩市

- 266. 平和（何事もない）／萩東中学校生徒

## アイデア

- 266. お金がもらえる

## 萩市からの回答

行政からのお金の支援は、給付金、奨学金、補助金などがあります。

一例を挙げますと、近年では物価の高騰により大きな影響を受けた方へ給付金を支給しております。また、学校生活を支援する奨学金や住民活動を支援する補助金も、お金による支援です。

これらの支援につきましては、それぞれの目的や必要性を考慮し、実施しています。



## 理想の萩市

- 267. なにがあってもみんなが助け合う萩市／萩東中学校生徒
- 268. 笑顔が絶えない萩市／萩東中学校生徒
- 269. 楽しい町／萩東中学校生徒
- 270. みんながすごしやすい町／萩東中学校生徒

## アイデア

- 267. みんな元気よく
- 268. 元気になる
- 269. 元気のいい町にする
- 270. 発達させる

## 萩市からの回答

現在、「明るく元気な萩市」を目指し、まちづくりを進めており、皆様のご提案に同感です。その実現にあたっては、産業の活性化、健康の増進、スポーツ・文化の促進、地域コミュニティの活性化など、幅広い分野の振興を図る必要があります。

例えば、東京大学・鈴木寛教授が主宰する「すずかんゼミ」のサポートを受け、高校生の「やってみたい」を実現する萩探求部も、明るく元気なまちづくりにつながる取組の一つです。皆さんも参加いただき、ご自身のアイデアで元気なまちづくりに挑戦してみてください。

萩市も、様々な取組を通じて、明るく元気なまちづくりを推進します。

## 理想の萩市

- 271. 良い町／萩東中学校生徒

## アイデア

- 271. 大人になっても住み続けられる町をつくる

## 萩市からの回答

萩市も、皆さんに大人になっても萩市に住み続けていただきたいと願っており、ご提案に同感です。萩市では、住みよいまち・住みたくなるようなまちとなるよう、目指すまちの姿を「暮らしの豊かさを実感できるまち」と定め、まちづくりを推進しています。

「だれもが生きいきと暮らせるまち」、「産業活力があふれるまち」など、7つのまちづくりの方針のもと、皆さんが大人になっても住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。

<b>理想の萩市</b>
272. 大きいショッピングホールがある町／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
272. 金を集める
<b>萩市からの回答</b>
<p>萩市では、個人のふるさと納税に加えて、企業版ふるさと納税に取り組んでいます。この制度は、地方公共団体が行う取組に対して、萩市外に本社を置く企業からご寄付をいただくものです。このように様々な機会をとらえて財源を確保する取組を進め、萩市のまちづくりに活用してまいります。これからも、広く市民の皆さんのご意見をおうかがいし、市政の運営に努めてまいります。</p>

<b>理想の萩市</b>
273. 誰もが快適に過ごせる萩市／萩東中学校生徒
274. 誰もが快適に過ごせる萩市／萩東中学校生徒
<b>アイデア</b>
273. 市民アンケートをとる
274. 市民で会議をする
<b>萩市からの回答</b>
<p>ご提案いただきましたように、市民アンケートや、市民会議を通じて、皆さんのご意見を市政に反映することは大切なことだと認識しています。</p> <p>そのため、萩市では「市長への手紙」、「市政報告会」、「一日市長室」などを通じて、市民の皆様の声をお聴きする取組を行っています。</p> <p>また、計画策定等の際に設置する協議会や委員会には、産業や教育など各分野に知見のある方に参画いただき、ご意見をうかがっているところです。</p> <p>更に、総合事務所管内では、住民の皆さんのご意見を聴きながら事業計画を検討する「地域事業懇話会」も設置しているところです。</p> <p>これからも、広く市民の皆さんのご意見をおうかがいし、市政の運営に努めてまいります。</p>

## 理想の萩市

- 275. 大きいショッピングホールがある町／萩東中学校生徒
- 276. 萩市の人口を少しでも増やす／萩東中学校生徒
- 277. みんながすごしやすい町／萩東中学校生徒

## アイデア

- 275. 人口を増やす
- 276. いろんな人に萩市のいろんなことを知ってもらえるように何か取り組みばいいと思う
- 277. 人を増やす

## 萩市からの回答

萩市の人口は毎年約1,000人減少しており、人口減少は萩市の大きな課題です。また、少子化が進行しており、このことは将来にわたる人口減少の加速化を意味しています。

そのため、人口減少に歯止めをかけるには出生数の増加も必要であり、出生率の向上や子どもを望まれる若い世代の方々に萩に住んでいただくことが重要となります。

萩市では、子育て環境を充実することで、出生の希望を叶えやすくするとともに、若者が希望する仕事の創出、移住を希望される方への住まいの提供など、様々な取組を通じて若者の市外流出の抑制と市内への移住定住策を進めています。

例えば、小・中学校の給食費を無料とするなど子育て環境を充実するとともに、誘致したIT関連企業では、40名の新しい雇用が生まれており、今後採用が見込まれています。

萩市は「暮らしの豊かさを実感できるまち」を目指し、住みよいまち・住みたくなるまちとなるよう取り組んでまいりますので、皆さんも、ぜひ、萩市で働き、生活することを考えてください。

## 理想の萩市

- 278. 平和で明るい町／萩東中学校生徒
- 279. なにがあってもみんなが助け合う萩市／萩東中学校生徒
- 280. みどりがありながらもいろいろ栄えていて、人と人とが支えあえる感じ／萩東中学校生徒
- 281. 平和で明るい町／萩東中学校生徒
- 282. 助け合える萩市／萩東中学校生徒
- 283. たのしいと思える萩市／萩東中学校生徒
- 284. 地域の人が温かい／萩東中学校生徒
- 285. 誰もが楽しめるまち／萩東中学校生徒

## アイデア

- 278. 困っている方がいたら助ける
- 279. みんなが協力の精神
- 280. 人とのつながりを深める
- 281. 困っている方がいたら助ける
- 282. 信頼関係をつくる
- 283. みんなが仲良くする
- 284. 仲良くする
- 285. ルールを守る

## 萩市からの回答

皆さんから、平和で明るい町、楽しいと思える町とするためには、助け合いや協力の精神が必要とご提案いただきました。私たちは、皆さんの考えに全く同感です。

私たちは「相互扶助」と表現することが多くありますが、この言葉は、お互いに助け合い支え合うこと、互いに助け合う協同精神といった意味を持っています。

私たちは、家庭、学校、職場などで、様々な人と関わりながら生活しています。そうした組織の構成員として、お互いに支え合い、また、その輪を広げることで、暮らしやすいまちになると考えます。また、支え合いの活動を通じて人と人のつながりを深めることで、人生も豊かになっていくものだと思います。

萩市は、全ての人々がそれぞれの持つ個性や特性を認め合い、交流し、活かし合うことによって地域の福祉力を高め、ふれあい、豊かで思いやりに満ちた、みんなで支え合う地域を目指します。